

とくいてひえいりかつどうほうじん
特定非営利活動法人

じりつせいかつ
自立生活センター・リアライズ

iiL

KSK

リアルライフ News

KSK 1984年8月20日 第3種郵便物承認

毎月(5:10:15:20:25日)発行

とくしゅう
特集1

ねんどめたまかつどう
2022年度目玉活動！
せんしゅう
Viva泉州特集！

とくしゅう
特集2

ねんど
2022年度

けんしゅう
こんな研修しました！！

- しんじん
1. 新人スタッフ研修
- けんしゅう
2. パートナー制度
- せいど
3. リアライズ共有会

とくしゅう
特集3

じりつせいにかつかいし
自立生活開始！
かすみんインタビュー！

Vol.29



令和4年度

リアライズの主な出来事



4月～6月

- ・リアライズ全体会
- ・泉大津市市制施行80周年記念
泉大津アートフェスティバル 参加
- ・オンラインサロン「Synergy」での
トークライブ 参加
- ・アサーティブコミュニケーション講座 開講
- ・おづぶらざフェスタ 参加
- ・アメニティフォーラム25 参加
- ・四天王寺大学 講演
- ・バリアフリーアドバイザー養成研修 参加
- ・JCILさん訪問@当事者スタッフ研修
- ・新人スタッフ研修
- ・現任研修「遺伝性疾患と向き合う」

- ・障大連・連続研修会<第1回>
「障害の理解」参加
- ・重訪講座 開講
- ・バリバラ取材
- ・交通サポートマネージャー研修 講演
- ・国府小学校 人権学習 講演
- ・関西大学 講演

7月～9月

- ・国府小学校 人権学習 講演
- ・総決起集会 参加
- ・新人研修
- ・オールラウンド事前研修会&新人研修 開催
- ・対府オールラウンド交渉 参加
- ・現任研修 虐待防止法について
- ・NHK「バリバラ」に出演

- ・事務所&パイオニア閉所(6～15日)
- ・堺市地域移行PR動画撮影
- ・障大連・大阪市ブロック研修 参加
- ・パイオニア 研修(新人スタッフ研修)

10月~12月

- ・誰もが幸せになれるぶたのほし
～バリアフリーをさがす旅～ 参加
- ・和田さん来所
- ・夢宙センターさん訪問(新人スタッフ研修)
- ・現任研修 ～部落差別問題について～
- ・穴師小学校 人権学習講演(第一回、第二回)
- ・夢宙センターさん訪問(スキルアップ活動)
- ・障大連 連続研修会
「障害者運動の歴史 パート3」
～次世代につないでいくために 参加
- ・AJUワインフェスタ 参加
- ・関西医療大学 講演
- ・ボウリング大会 開催
- ・介助者募集@カナートモール
- ・「夜間支援保障」学習会 開催
- ・重訪講座 開講
- ・きしわだ野外映画祭 ブース出展
- ・アトリエSubaruさん来所

- ・国際障害者デー記念イベント
- ・第2回みんなで笑顔まつり 出演
- ・シーパスパーク見学ツアー 参加
- ・大阪障害者自立セミナー 参加
- ・高石高校 英語部の皆さん 来所
- ・二色浜公園バリアフリー検証 参加
- ・大阪市交渉(新人スタッフ研修) 参加
- ・ナビゲーションからの取材
- ・STAND BY フェスティバル 参加
- ・リアライズ忘年会 開催

1月~3月

- ・パイオニア初詣
- ・介助者募集@成人式
- ・泉州フォーラム学習会 開催
- ・新人研修
- ・久宝寺緑地ワークショップ 参加

- ・交通サポートマネージャー研修 講演
- ・アメニティフォーラム 参加
- ・誠風中学校 講演
- ・現任研修

しんねんど あいさつ 新年度のご挨拶

はうじん じりつせいかつ
NPO法人 自立生活センター・リアライズ

りじちやう つじた ななこ
理事長 辻田 奈々子

ねん まく あ ことし みな いちねん
2023年の幕が開けました。今年は皆さんにとってどんな一年にしていきたいですか？

ねん いずみおおつ あさ ばんぐみ と あ せんしやう あら
2022年のリアライズは、泉大津TRYがNHKの朝の番組に取り上げられたり、Viva泉州という新たなバリアフリー
すいしん かつどう しどう いずみおおつ せんしやうちいき じくあし お かつどう おもしろ あらた かん いち
推進の活動を始動したりと、泉大津そして泉州地域に軸足を置いて活動していくことの面白さを改めて感じられた一
ねん
年でした。

しやうさい こうじゅつ かつあい しょうがいしゃ かつどう なに つね ついきやう じもと いずみおおつ
詳細は後述にあるためここでは割愛しますが、障害者だからこそできる活動は何かを常に追求しながら地元・泉大津
も あ しよぞん
を盛り上げていこうとしている所存です。

さくねんど じっし せいど ひ つづ じんざいいくせい あら とりく じやうきん ねんめ
また、昨年度から実施のパートナー制度に引き続き、人材育成の新たな取り組みとして常勤スタッフとなって1～2年目
かいじよしゃ たいしやう しんじん けんしやう どうにやう
となる介助者を対象とした新人スタッフ研修を導入しました。

じりつせいかつうんどう じぎやうないやう かつどう い ぎ し はだ かん じぎやうぶもんべつ たんとう
自立生活運動やリアライズの事業内容、活動の意義などを知ってもらい、肌で感じてもらうべく事業部門別で担当を
わ ぶ ねんかん とお じっし
割り振りながら年間を通して実施してきました。

リアライズも設立からはや15年が経ち、規模が大きくなるにつれ「背中を見て育つ」では限界を感じるようになってき
ました。

けんしやうたいせい じやうじつか きっさん かだい とうけんしやう しんじん こうひやう どうし けっ
そのため、研修体制の充実化は喫緊の課題でした。当研修については新人スタッフからも好評で、スタッフ同士の結
そく かつどう いちよく にな
束や活動へのモチベーションに一翼を担いました。

こんご ぜんじやうきん たいしやう けんしやう とうじしゃ たいしやう けんしやう たやう けんしやう じっし と い
今後は全常勤スタッフを対象とした研修や当事者スタッフを対象とした研修など多様な研修の実施を取り入れてい
かんが
きたいと考えています。

いっぽう さくねん ねんかん とお しんたいせい ねん ぶ かえ かだい む あ さぎやう
一方、昨年の1年間を通して新体制となったこの2年を振り返り、課題とひたすら向き合う作業をしてきました。

こんご じぶん まえ む せいしやう はってん じぶん いまた なに きたん だ あ たいわ
今後自分たちが前を向いて成長し、発展していくために自分たちに今足りないものは何かを忌憚なく出し合い、対話
かさ
を重ねてきました。

じりつせいかつ い ぎ りねん いちど た かえ じぶん こと なに あらた
自立生活センターとしての意義やリアライズの理念にもう一度立ち返りながら、自分たちがやりたい事は何かを改め
せいり みんな おな ほうこう む ひつやう じかん
て整理することは、皆で同じ方向を向いていくために必要な時間でした。

うんどう うんえい みじゆく じぶん じしん も はっき おお ひと おうえん
運動にも運営にもまだまだ未熟な自分たちではありますが、自信を持ってリーダーシップを発揮し、多くの人に応援し
いただ だんたい しょうじん
て頂ける団体となるようこれからも精進していきます。

か ねんめ むか ひと おうらい いぜん せいかつやうしき と もど いま ひごろ じぶん おも かだい
コロナ禍となって4年目を迎え、人の往来や以前の生活様式を取り戻しつつある今、日頃の自分たちの想いや課題
で き おお ひと いっしょ かんが いただ きかい つく ねん いっそう そと つな いちねん
をシェアし、出来るだけ多くの人と一緒に考えて頂く機会を作れるよう、2023年はより一層外と繋がられる一年にし
かんが
たいと考えています。

ねん おうえん ねが いた
2023年も応援よろしくお願い致します！

スタッフより

しんねんど 新年度ご挨拶



ななちゃん

りじちょう だいひょう とうじしゃ
理事長/CIL代表/当事者スタッフ

つじた ななこ
辻田 奈々子

さくねん じぶん みじゅく げんかい つうかん
昨年は自分の未熟さや限界を痛感し、
ひとかわ む いただ いちねん
一皮剥いて頂いた一年でした。

ことし まわ じょうず たよ しょうじん
今年は周りを上手に頼りながら精進していきます！
カメラ友達募集中です♪

かいちょう とうじしゃ みつい たかお
会長/当事者スタッフ 三井 孝夫

みなさん、いつもリアライズを応援いただき、ありがとう
ございます！

きょねん はる う
去年の春に、こどもが生まれ、リアライズだけでなくプラ
イベートも第2ステージがやって参りました！

こうし あたら けいけん かんどう みまも
公私ともに新しい経験と感動、そして見守るということ
の難しさなど、自分の成長材料をGETしまくりの今日
この頃！それらを生かして、今年度も頑張ります♪



みっちー

じむちょう ひえだ かずのり
事務長 稗田 一敬

リアライズと出会い15年！

その間に結婚し、子供も2人授かりました。

やま たに じんせい なか いま せいかつ じ
山あり谷ありの人生の中で今の生活があるのは自
分だけで乗り越えてきたのではなく、様々な出会いの
なか みまも かたがた
中で見守ってくださった方々のおかげです！

これまで本当にありがとうございました。

あらた こんご ねが いた
改めて今後もよろしくお願い致します。



ひえちゃん



ひろし

せい かつ かい ごと かんり しゃ
生活介護管理者

やまもと
山本

ひろし
啓司

とりあえず^{きょねん}去年コロナになったよりも…何^{なに}よりも大^{だい}ショックだったのは『高^{こう}血^{けつ}圧^{あつ}』でした。働^{はたら}きすぎて、ストレスで…というわけだけでもなく、お酒^{さけ}飲^のみ過^すぎ食^たべ過^すぎの不^ふ摂^{せつ}生^{せい}も十分^{じゅうぶん}にあります(笑)

な^{ことし}ので、今^{さけ}年はお酒^{ひか}を控^{てきど}え、適^{うんどう}度に運^{けんこう}動^きし健^{けんこう}康^きに気^きをつ

け、1年^{ねん}過^すごしていき^{おも}たいなと思^{おも}います。
健^{けん}診^{しん}目^{もく}標^{ひょう}の^み見^み本^{ほん}み^したいな締^しめ^めです^すが、今^{ことし}年もよろしくお
願^{ねが}い^いします。

かい じょ は けん かんり しゃ
介助派遣管理者

よしい
吉井 ひかり

2023年^{ねん}は卯^う年^{さぎとし}…ミッフィー^{とし}の年^{ねん}です^{わら}ね!笑

今^{ことし}年はミ^{かつ}フ^{いじょう}ィ^{ほうふ}活^ふをい^{おん}つも以^{かん}上^{ものこと}にす^のること…!^{あし}が抱^ふ負^ふではな^ふく、年^{とし}女^{おんな}な^{かんが}のでう^もさ^のぎ^このよ^のうにし^こっ^こかり地^ちに足^{あし}をつ^ふけて踏^ふん張^はって、考^{かんが}え^{ものこと}た物^{もの}事^{こと}を^のぴ^こょん^こと乗^のり越^こえ^こられ^こるよ^こうに^こして^こい^こきたいと思^{おも}います(・×・)

気^きづ^{かつどう}けばリ^{はじ}ア^えライ^とズ^えで活^え動^とを^え始^えめて、い^えつ^えの^えま^えにか干^え支^えを
一^{いっしゅう}周^{しゅう}して^しい^しる^しとい^しう^しこ^しに^しび^しっ^しくり^しし^して^しい^しま^しす^しが、今^{ことし}年^{ねん}も頑^{がん}
張^はって^はい^はき^はま^はす^はので、皆^{みな}様^{さま}ご協^{きょう}力^{りき}よろしくお願^{ねが}い^いいたしま^い
ーす♪



ひいちゃん

とう かつ
統括コーディネーター

かわぐち
川口

かずひろ
和洋

い^{ひと}ろ^{おうえん}んな^{ささ}人^{なが}の^{つづ}応^な援^なや支^なえ^なが^なあ^なっ^なて長^{なが}く続^{つづ}け^{つづ}るこ^{つづ}とが
出^で来^きて^きい^きま^きす。こ^ばの^か場^かを^かお借^{かん}り^{しゃ}し^して感^{もう}謝^あを^あ申^あし^あ上^あげ^あま^あす。
本^{ほん}当^{とう}に^{とう}あ^{とう}り^{とう}が^{とう}う^{とう}ご^{とう}ざ^{とう}い^{とう}ま^{とう}す。

2023年^{ねん}は、ベ^こス^こト^こを^こ越^こえ^こて^こい^こけ^こるよ^こう^こな^こ一^{いち}年^{ねん}に^{ねん}し^{ねん}た^{ねん}い^{ねん}と思^{おも}い^{おも}ま^{おも}す。



はるお



ほっちゃん

コーディネーター

ほしの たかひろ
星野 貴大

昨年さくねんもあつという間まに一年が過ぎ、年々時が経つのが、
早はやすぎて一日36時間ほしいなと思う今日この頃けふこのころです。
限かぎられた時間じかんの中でベストを尽くせるよう今年一年ボ
チボチ頑張がんばっていこうと思います。

コーディネーター

ふくい さえ
福井 彩英

昨年さくねんは新たなメンバーもたくさん加わり、改めてここで伝
えていきたいこと、取り組んでいきたいことに目を向ける
ことが多い一年でした。
自分じぶんがたくさんの視点してんを持って活動できるようになって
きたのもいろんな経験けいけんをさせてもらったからこそなので、
そういう経験けいけんを次世代のメンバーにもちゃんと繋いでい
けるようになっていきたいなと思います。
今後こんごもリアライズをよろしく願いします☆



まみー



とめさん

そうだしえん かんりしゃ そうだんいん どうじしゃ
相談支援管理者／相談員／当事者スタッフ

にしとめ かずひろ
西留 一浩

2023年ねんは新しいアイデアや視点してんを探求し、異な
る角度かくどから自立生活運動じりつせいかつうんどうについて考えたいです。
活動かつどうしていく中でオープンマインドを心がけ、人と
の関係性かんけいせいへの理解りかいを深めていきたいと思ひます。
今年ことしも宜しく願いします。



ちんちゃん

そうだんいん とうじしゃ
相談員／当事者スタッフ

ちんぜい ゆうた
鎮西 雄太

きょねん じぶん おお へんか ねん
去年は自分にとって大きく変化した1年でした。

これからほそ なが つづけていけるよう、もう少し自分に
あったペースでいただいている役割をがんばっていきな
と思います。

ほんねん ねが
本年もよろしくお願いいたします。

とうじしゃ
当事者スタッフ／パイオニアメンバー
おかだ のりゆき
岡田 憲幸

いつもリアライズを応援していただきありがとうございます
す!

きょねん ぼく そだ いずみおおつし しせい しゅうねん むか
去年、僕が育ってきた泉大津市も市制80周年を迎えて、
さまざまなイベントや式典等で活気づいています!!

ぼく ねん いずみおおつし ま さくねん いっそう
僕も80年の泉大津市に負けないように、昨年よりも一層
ちからづよ 力強くしなやかに、がんばっていきなと思います!



おかちゃん

かいじょ
介助スタッフ

かわばた のぶまさ
川端 延昌

ねんど はじ
2023年度が始まりました。

ウィズコロナもすす だんだん そと で きかい ふ
進み段々と外に出る機会が増えて
きましたね。

ゆうじん かぞく みなさま あ ひ たの
友人、家族、そして皆様と会える日を楽しみにして
おります。ほんねんど ねが
本年度もよろしくお願いします。



のぶりん



さおりん

かいじょ
介助スタッフ

みなみ さおり
南 早織

2022年は妊娠したのもあり、事務を主にやってみました。
介助の現場に入れず寂しい思いもしましたが、周りの皆
さんにたくさん助けられました♪
恩返しもできず悔やまれる想いもありますが、また戻っ
てきたら温かく見守ってもらえたらと思います!2023年
は子育てに専念しますっ!!!目指せっ!肝っ玉母ちゃん!!!

かいじょ
介助スタッフ

ひえだ
稗田 ひかり

昨年さくねんの夏に家族がもう一人増えました!子育てはこれまで
リアライズでの活動で大切にしてきた考え方かんがに通ずる
部分ぶぶんがあり、毎日自分を試されているような気持ちです。
今年ことしは本来のすっとぼけでマイペースな私らしさを取り
戻すべく、ゆる〜くまったり♪でがんばります♪



ひかりん

かいじょ
介助スタッフ

にいざと しょうへい
新里 翔平

皆さんこんにちは、こんばんわ!
リアライズにんげんかくせいきの人間拡声器こと新里翔平です。
そろそろ落ち着いてくるかなと思った新型コロナウイルス
も完全には収まる気配がなく、まだ少し外出に気を使うと
ころがありますが、皆様どうお過ごしでしょうか。
自分も今年4歳になる娘と色々出かけたいのを我慢せざるを得ない時もあります。
そういった時こそ「impossible is nothing ! (不可能なことは何もない!)」の精神で、辛抱強く乗り越えていきましよう!
今年もよろしくお願ひします!



しんぺー



むー

こうほうじぎょうせきにんしゃ かいじょ きたむら みつる
広報事業責任者／介助スタッフ 北村 充

つきひ た はや かつどう はや
月日が経つのは早いもので、リアライズで活動しだして早
すうねん
数年。

さいきん やくわり まか さくねんど
最近はいろいろ役割を任せてもらうようになり、昨年度は
こうし じゅうじつ いちねん おく
公私ともに充実した一年を送ることができました。

すうねん こうほうたんとう かつどう こんねんど
ここ数年は広報担当としても活動していましたが、今年度
あら こうほうじぎょう せきにんしゃ まか
からは新たに広報事業の責任者を任されましたので、より
いっそう じょうほうはっしん きょうか しょぞん
一層リアライズの情報発信を強化していく所存です！

みな ぜ ひ
皆さん是非リアライズのSNSフォローしてくださいね♪

かいじょ
介助スタッフ

ふじもと
藤本

だいち
大地

ねん あし こっせつ かいじょ はい
2022年は足を骨折してしまって介助にしばらく入れな
かったり、6月からKS(介助スタッフ)になったりと個人的
いろいろ わだい おお とし わら
に色々話題の多い年でした笑
ことし け が あたら
今年はまず怪我しないことと、新しいチャレンジをしつ
つプライベートも楽しんでいけるようにしていけたらと思
います！



てんちゃん

かいじょ
介助リーダー

てらだ
寺田

たつろう
竜郎

こんねんど せっきよくてき じぶん いしき か
今年度は積極的に自分の意識を変えていかなければなら
ないと思います。

さくねんど じぶんじしん たちば せきにんかん おも う
昨年度よりも自分自身の立場の責任感も重く受けとめて、
い 言われてからやるのではなく主体的に動いて問題を解決
していきようとしています。

じょじょ で がっしゆく かい
イベントも徐々にGOサインが出てきましたので合宿も介
助者集めもコロナに気をつけながら工夫して取り組んで
いきたいです。



てらっしー



ししまる

かいじょ

介助リーダー

まつもと

松本

しょうま

翔馬

昨年^{さくねん}は活動^{かつどう}の場^ばが変わ^かったりプライベートでは結婚^{けっこん}したりと様々な変化^{さまざま へんか}がある年^{とし}でした。

今年^{ことし}は個人的に前厄^{こじんてき}の年^{とし}という事^{こと}もあるので体調管理^{たいちょうかんり}に気を配^きりつつ、昨年^{さくねん}から引き続き活動補助^{ひ つづ かつどうほじょ}としてメンバー共々^{ともども}パイオニアを盛り^も上げていき^あたいと思^{おも}っております!

かいじょ

介助リーダー

おおもり

大森

ともや

智也

2022年^{ねん}を振り返^ふえると真^まっ先^{さき}に、初めて^{はじめて}コロナの濃厚接触者^{のうこうせつしよくしゃ}になった事^{こと}や初めて^{はじめて}…始末書^{しまつしよ}を書^かいた事^{こと}が思い浮^{おも}かびます。

2023年^{ねん}は、振り返^ふった時^{とき}にこの2つ^{ふたつ}がまず思い付^{おも}く、なんて年^{とし}にならないと良^いいですよね(…1つ^{ひとつ}は自分次第^{じぶんしだい}ですが)。

そんな感じ^{かん}で今年^{ことし}もよろしく願^{ねが}いします。



ほとちゃん

かいじょ

介助リーダー

あしむら

芦村

こなつ

小夏

こんにちは、こなっちゃんこと芦村小夏^{あしむらこなつ}です!

常勤^{じょうきん}2年生^{ねんせい}になりました。

果た^はして成長^{せいちょう}できた部分^{ぶぶん}はあるのかしら?

今^{いま}は皆^{みんな}と過^すぐ時間^{じかん}がとて^{たの}楽しいので、今年^{ことし}もいっぱい

お喋^{しゃべ}りして食^たべて飲^のんで寝^ねる最高^{さいこう}な年^{とし}にしようと思^{おも}います。

よろしく願^{ねが}いします♡



こなっちゃん

かいじょ

介助リーダー

やまぐち

山口

はるき

遥希

今年^{ことし}は、たくさん^{ひと}の人^かと活動^{かつどう}を通^{とお}して繋^{つな}がりを持^もちたいです。

自分^{じぶん}の意見^{いけん}をわかりやすく伝^{つた}えられるようにする。これは自分^{じぶん}にとっての挑^{ちょうせん}戦^{せん}として前向^{まえむ}きな気持^{きも}ちでモチベーショ^あンを上げ、仕事^{しごと}だけでなくプライベートも充^{じゅうじつ}実^じしていけるよう生活面^{せいかつめん}でもメリハリをつけた^{つけ}たいです。



ハルク



まどかさん

NEW!

かいじょ 介助リーダー

いけだ 池田 まどか

リアライズには高校生の頃からお世話になっていて、この4月から常勤としてこれからも関わらせてもらうことになりました。最近私は月に1回は推しに会いに行く機会がないと頑張れない身体になりましたwww

これからも今までと変わらず推しのために全力で生きつつ、リアライズの一員として精一杯元気に頑張っていきます。

NEW!

かいじょ 介助リーダー

あない はるな 穴井 晴菜

どーも。初めましての方、顔馴染みの方、4月から常勤になりました、なっつーこと穴井晴菜です。今年は常勤としていろいろな経験や知識をつけて、よりレベルアップできるように頑張りたいと思います。

末永くよろしくお願いします。



なっつー



そたぽよ

NEW!

かいじょ 介助リーダー

そた ゆうき 曾田 優輝

10月から登録で介助を始め、4月から常勤になった曾田です。

介助を始めるまであまり家事をしてこなかったので、介助を通して日々家事スキルを磨き、絶賛花嫁修行中です☆

ゲームと動物カフェ巡り、お酒が好きです。

よろしくお願いします！

パイオニアメンバーより

しんねん あいさつ 新年ご挨拶



バヤシさん

パイオニアメンバー ふじばやし ゆきお
藤林 行夫

昨年^{さくねん}は還暦^{かんれき}(60歳^{さい})を迎^{むか}えたこともあり、今年^{ことし}は全て^{すべ}のこと
に「再スタート^{さい}」をしたいと思^{おも}っております！
体調^{たいちよう}のことも考^{かんが}え、あまり無理^{むり}はせず^{おも}にやっ^あていき^たいたいと思^{おも}
っておりますので、温^{あたた}かく見守^{みまも}っていただければと思^{おも}
っております。
よろしくお願^{ねが}い致^{いた}します。

パイオニアメンバー もり ひろえ
森 寛絵

みなさんこんにちは！

今年^{ことし}の私^{わたし}の目標^{もくひよう}は、『健康^{けんこう}的に色々^{いろいろ}なことにチャレンジし
てみる』です♪

昨年^{さくねん}の後半^{こうはん}からいろん^{きようみ}なことに興^わ味が湧^わいてきたので、
より深^{ふか}めていき^{おも}たいと思^{おも}います。

プライベートでは旅^{りよう}行^いに行きたい!!2回^{かい}ぐらい♪♪♪



ひろえちゃん

パイオニアメンバー やの りか
矢野 理佳

昨年^{さくねん}は、介助^{かいじょ}のことや人^{ひと}との関^{かか}わり方^{かた}などで、悩^{なや}むことが
多^おかったです。

今年^{ことし}は、もう少し^{すこ}自分^{じぶん}の気持^{きも}ちを伝^{つた}えられるようになりた
いです！

それからマイペースで生^いきていきます。

今年^{ことし}もよろしくお願^{ねが}い致^{いた}します♪



りかちゃん



ながちゃん

パイオニアメンバー

ながた
永田

ゆうじ
勇次

ことは
今年は、もっとリアライズ、パイオニアでもう少し
たよ頼られるような人間になりたいです。
それと去年とは、違う新しいことにも挑戦してい
こうと思います。

パイオニアメンバー

いおか
井岡

かずみ
和美

ことは
今年もよろしくお願いします。
ことは なに たいちょうくす にはういん す
今年は何も体調崩さずに入院せずに過ごしたいです。



かずみん



カツヲ

パイオニアメンバー

かわもと
川本

まさかつ
将勝

さくねん しんがた かんせん
去年は新型コロナに感染してしまったり、右足首を痛めて
しまったりと、体調面に関してはあまり良くなかったですが、
いろいろな人との出逢いがありました。
ことし
今年もリアライズ以外の人との出会いも大切にしていけた
らと思います。

Viva泉州始めました！



～Viva泉州とは～

いずみおおつし
泉大津市にある
じりつせいかつ
自立生活センター・リアライズが
せんしゅう すてき
泉州の素敵なスポット・バリアフリー
じょうほう とど
情報をお届けします☆

だれ たの せんしゅう
誰もが楽しめる泉州を♪

すこ じかん
少し時間をさかのぼりますが2021年のある日、事務所に届いた
ゆうびんぶつ かんこうぶつ せいり
郵便物や刊行物を整理していた時に、ある一つの冊子が目に
と
留まりました。

NPO法人自立支援センターおおいたさんが行政なども巻き
こ こんでと くり組まれた「ぱらべっぷ」です。それは別府の観光地と周辺施設のバリアフリー情
ほう ほう
報がピクトグラムや写真を使って、とてもわかりやすくまとめられていました。
また掲載されているたくさんの写真には、障害当事者の方々が実際に現地で楽しそうに利
よう ようす うつ
用する様子が写されていました。



「めっちゃええやんこれ。楽しそうやし。」と呟いたところからこの活
どう じ
動が始まっていくことになりました。

つぶや なが
呟いたその後、「じゃあうちでもやろうぜ。」という流れから、
「こういうことやろうや!」と他のメンバーにも声をかけていき、
かん ほんか ほんか ほんか
その間もコツコツと情報収集や準備を進めていきました。



そしていよいよ2022年4月、令和4年度のリアライズの目玉の活動として本格的に始動
しました!

この活動は、泉州地域の観光地などのおでかけスポットや
いんしょくてん など しゅうへんしせつ ちょうさ
飲食店、ホテル等の周辺施設を調査し、ネットを使って情報
はっしん かつどう
発信していくという活動です。

せんしゅうちいき しほ おおさかしい
泉州地域に絞ったのはきらびやかな大阪市内にばかりスポット
あ せんしゅうちいき
が当てられがちですが、泉州地域にもこんないいところがあるんだぞ!ということを発信し
たいなと思ったからです。



いろいろなところに出かけることで、新しい気付きや出会いに期待する気持ちや、純粹に楽しみたい!ということもありますが、実際に私たちが現地に行ってその人たちとやり取りすることで、お店等の方々にも障害当事者の事を知ってもらうことや、バリアフリーの促進にもなれば良いなあと企んでおります。

そしてまだまだメリットはたくさんあって、コロナ以降大々的な活動が出来てこなかったために、障害当事者にも健常者のスタッフにも活動を知らない層が結構出てきているので、そんな人たちにも地域に出て活動することで、障害当事者を取り巻く環境を体感してもらいたいと思っています。



そんなこんなで始まったこの活動ですが、夏ごろまでについてはかなり地味目な内容になっていて、やはり何事もまず準備からということで、ほとんどがパイオニアスペースで完結しております(笑)

内容としては、今後調査していく場所の種別ごとにチーム分けを行いました。

チームは4つで「宿泊施設チーム」「レジャー施設チーム」「ご飯屋さんチーム」「神社仏閣チーム」に分けました。その後は主にこのチーム単位で活動しています。

そしてこの間では、調査先のリストアップや調査時のチェック項目、行程表の作成、アポ取りや他チームとの連携、法人内での予定調整、ロゴやフライヤー、Tシャツ作成などなど事前にやらなければならないことがたくさんあります。

最初は小さな環から始まり、徐々に声をかけ人を巻き込んでいくことで、全体としての活動になったわけですが、「人を巻き込んでいく事の難しさ」ということを改めて感じました。

自分の想いを伝えて応援してもらうことというのは思っているほど簡単なものではありませんでした。

一方で意外なメンバーの活躍があったり、介助の合間を縫ってなんとか参加してくれるメンバーもいて、気持ちに伝えてくれる仲間がいることのよろこびも同時に感じています。

それでは各チームからの報告をご覧ください!

文: 鎮西



しゅくはくしせつ 宿泊施設チーム



2020年、リアライズの代表交代があり、
新生リアライズで活動を開始しようとした
矢先、新型コロナウイルス流行の影響を
受け、思うように活動できなくなりました。

そんな中で偶然に郵送された冊子をきっかけに、「Viva泉州」
という新たな活動を開始することになりました。

他の活動を続けながら、Viva泉州の活動をどう進めるか、
合意形成に時間をかける必要がありました。何度も

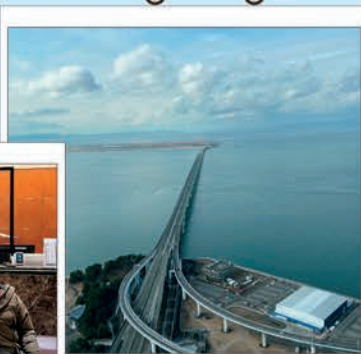
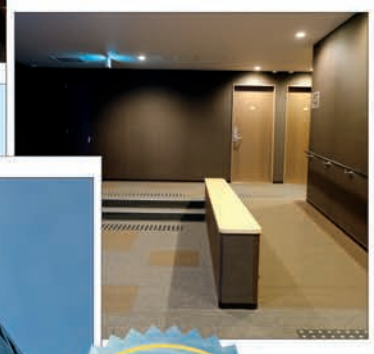
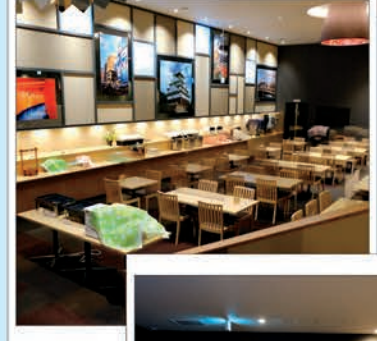
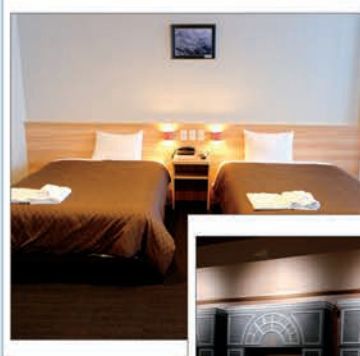
ミーティングを重ね、活動の目的をスタッフ全員に伝え、
その必要性をスタッフ一人ひとりにも

理解してもらったり、それぞれのタスクを考慮して、
活動に参加できる方法を検討する日々が続きました。

具体的にViva泉州をどのように展開させていくかは
ある意味、未知の領域でした。

CILおおいたさんが作成された冊子「ぱらべっぷ」を参考に、
取材先の選定やアポイントメントの取り方、バリアフリーチェッ
クをどこまで詳細にするかなど決まった型がない状態で、自分
達で考えながら進めていく日々が続きました。

宿泊施設チームにおいては、まず取材する宿泊施設の選定を
行いました。宿泊施設といってもいろいろ分類があります。



シティホテル、ビジネスホテル、旅館、
民宿、カプセルホテル、ユースホテル、
ゲストハウスなどがあります。

明らかにバリアが多く移動が困難な宿泊
施設は除外するという条件で選定した結果、
約40か所の宿泊施設の取材をすることに

なりました。取材するホテルはチェーン型経営のホテルが多
く、アポ取りの電話はするものの本社の了解を頂く必要があ
り、そのやりとりで時間がかかって日程調整ができない状態
が続きました。更に12月と1月とクリスマス～年末年始の
繁忙期なので、より日程調整ができない状態が続きました。

アポ取りの段階で丁寧に取合って頂けなかったり、
活動の趣旨をご理解頂けなかったりするホテルが
数多くありました。

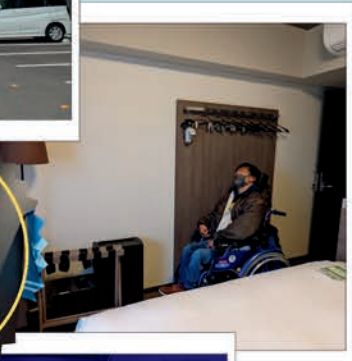
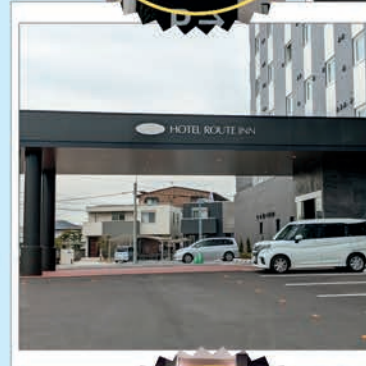
気持ちを強く持たないと!と、みんなで励まし合いながら
アポ取りを進めてきました。



今回、調査したホテルの中には、最新の設備が整っていると
ころもあれば、バリアフリーという言葉がまだ浸透していな
い時代に設計されたホテルもあり、いずれも私たち当事者
団体が訪問することに、ホテルの担当者は緊張した面持ち
です。

しかし、障害者もさまざまであることを説明し、障害者がど
のようにすれば宿泊施設を利用できるのかを説明しながら
話を進めていくなかで、障害者のことを
理解しようとする姿勢を感じる
ことも多く、そんなときに、
この活動を始めてよかったと
思ったりします。

ぶん にしとめ
文: 西留



レジャー施設チーム

レジャーチームでは、その名前の冠する通り「レジャー＝遊びに行けるスポット」というとても大きな枠組みで最初は考えていました。

しかし、いざ調べてみると、、、自分たちが知らないだけであまりにもその数が多いすぎる!というのが最初の難題でした。

このVivaの取り組みの目的のひとつに、自分たちの知らない泉州の魅力を再発見するというものがありますが、魅力が溢れすぎて初っ端から少しのぼせてしまいました(笑)

なので、最初にレジャーチームでおこなったことと言えば、「どんなところに行く?」ということの話し合いから始まりました。

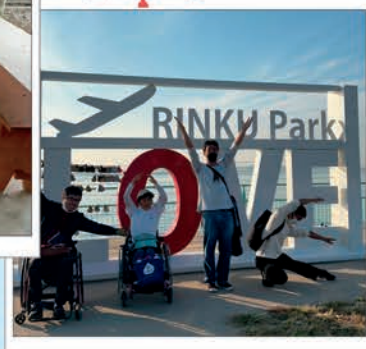
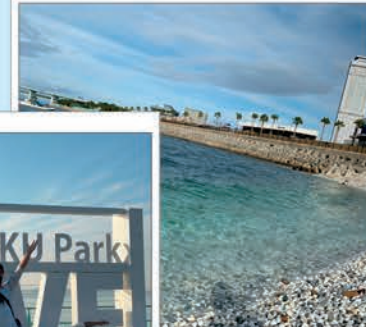
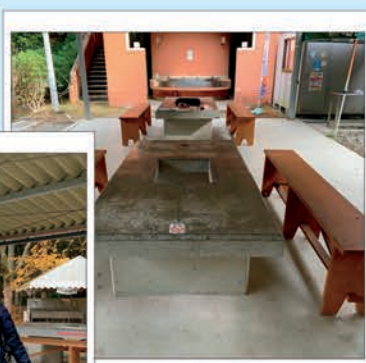
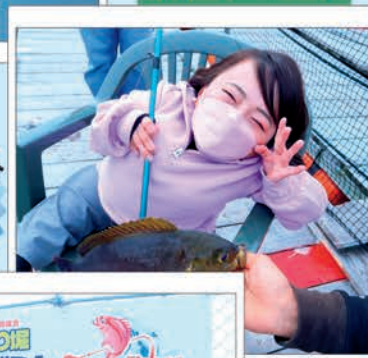
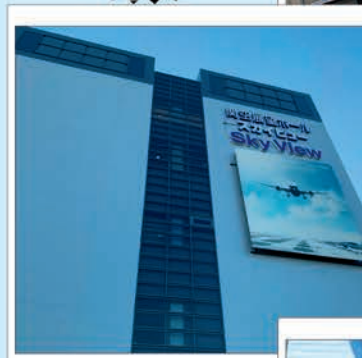
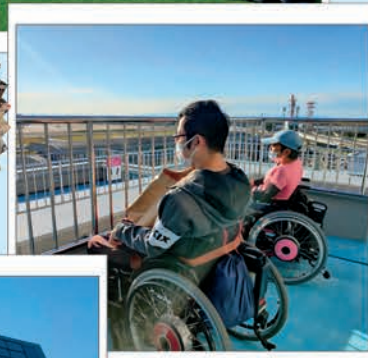
色んな場所に行ってその情報を発信したいという想いはあれども、さすがに自分たちだけではできないことに限界がある。

自分たちがやるからこそ意味のあるところはどんなところだろう?と考えました。

その結果、情報が手に入り辛く、自然と触れられるような場所に行こう!と決まりました。

リストアップしていくと、公園やBBQ施設、釣り堀、温泉、果樹園、海水浴場&プールなどの施設に絞ることにしました。

それでも数は膨大なので、その中からいくつか気になるところを選んでリストを作成しました。



その後実際に調査に行く前の準備を進めて

いきました。

最初、アポイントメントを取るときにはすごく

緊張しながら恐る恐る電話をかけていました。

しかしそれはいい意味で裏切られ、自分たちの

団体や活動のことを話すと快く受けてくださる

施設も多かったのが嬉しかったです。

レジャーチームの特性的に施設が多種多様で広大な施設も多く、それぞれで見るべきポイントをどうするかということが調査の際には悩まされました。

大きな府営の公園などになると1日で回りきることも難しく、2日間に分けて調査することもありました。ゆっくりじっくり回るからこそ、意外と自然豊かなことに気づけたり、美しい景色に出会えたりできることはこのチームの面白さなのかなあと感じています。

また車イスのままでは利用が難しいような場面でも、施設の人が一緒に車イスを持ち上げてくれたり、施設改修を考

えるきっかけにしてくれるなどの反応をもらえると、Viva

泉州の取り組みをやってよかったなあと感じます。

さて、レジャーチームは他のチームと比べても現場の介助で動いているメンバーが大半です。

そのためになかなか活動日に集まり辛かったり、連携が取りにくかったりと課題もたくさんあるチームですが、これからも頑張っ

て参ります！

文：鎮西

その後実際に調査に行く前の準備を進めて

いきました。

最初、アポイントメントを取るときにはすごく

緊張しながら恐る恐る電話をかけていました。

しかしそれはいい意味で裏切られ、自分たちの

団体や活動のことを話すと快く受けてくださる

施設も多かったのが嬉しかったです。

レジャーチームの特性的に施設が多種多様で広大な施設も多く、それぞれで見るべきポイントをどうするかということが調査の際には悩まされました。

大きな府営の公園などになると1日で回りきることも難しく、2日間に分けて調査することもありました。ゆっくりじっくり回るからこそ、意外と自然豊かなことに気づけたり、美しい景色に出会えたりできることはこのチームの面白さなのかなあと感じています。

また車イスのままでは利用が難しいような場面でも、施設の人が一緒に車イスを持ち上げてくれたり、施設改修を考

えるきっかけにしてくれるなどの反応をもらえると、Viva

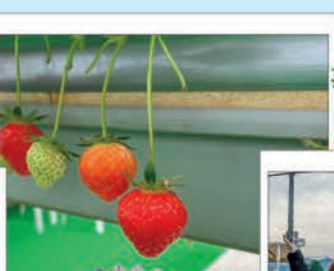
泉州の取り組みをやってよかったなあと感じます。

さて、レジャーチームは他のチームと比べても現場の介助で動いているメンバーが大半です。

そのためになかなか活動日に集まり辛かったり、連携が取りにくかったりと課題もたくさんあるチームですが、これからも頑張っ

て参ります！

文：鎮西



はんや ご飯屋さんチーム

はんや ご飯屋さんチームではこれまで11店舗のお店を
ちょうさ いただ 調査させて頂きました!

(※2023年1月末時点)主に他チームが調査する

スポットを起点に徒歩10分圏内の中から

よ 選りすぐりのご飯屋さんを

ピックアップしております!

ちょうさないよう 調査内容について、バリアフリー情報や

ていきょういただ ごうりてきはいりょ しょうさい 提供頂ける合理的配慮の詳細はもちろんですが、

みせ みりよく はっしん いただ お店の魅力もしっかり発信させて頂きたい!

というチームメンバーの強い思いから

オーナーさんとのやり取りも丁寧(ていねい)にさせて頂き、

しゅざい すず 取材を進めてきました。

バリアフリー情報に関しては、あらゆる障害種別の

ひと やくだ しょうぼう はっしん 人にとって役立つ情報を発信したい!ということで、

くるまいす 車椅子ユーザーにとって必要な通路幅やテーブルの高さ、

うむ しょうがいしゅべつ 点字メニューや

つ ひつだん うむ ちょうさ ルビ付きメニュー、筆談ボードなどの有無も調査

いただ させて頂いています。

ごうりてきはいりょ ないよう かん てび 合理的配慮の内容に関しては、手引きや

ひつだん たいおう かのう かいけい 筆談などの対応が可能か、テーブルでのお会計は

かのう ちょうさ 可能かなどを調査しております。

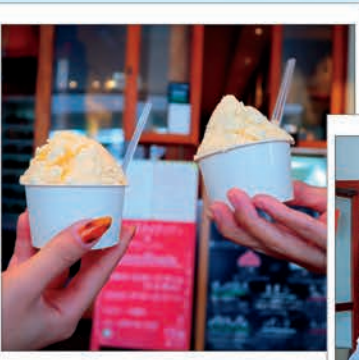
オーナーさんへのインタビューについては、

ないそう しょうざいえら おすすめメニューや食材選びのこだわり、

うかが ないそう たき わた はなし 内装デザインのポイントなど多岐(たき)に渡(わた)ってお話を

お伺(うかが)いしており、たくさんの発見(はっけん)がある内容(ないよう)と

なっていること(おも)と思います☆



ちょうさ はじ えたい し
調査を始めるまでは、得体の知れない
わたし ほうもん かた こた くだ
私たちの訪問にどれだけの方が応えて下さる
だろうかと不安があったものの電話などで趣旨
など つた こころよ さんどうくだ みせ
等をお伝えすると快くご賛同下さるお店が
おお わたし おどろ
多いことに私たちも驚きでした。
じっさい
実際にオーナーさんとのやり取りを通して
しょうがいとうじしゃ かた たいおう うえ みせがわ
障害当事者の方の対応をする上でのお店側の
なや き ごうりてきはいいよ し
悩みをお聞きできたり、合理的配慮について知って
いただ きかい こころ かよ はなし
頂く機会にできたりと心を通わせたお話ができて
いるのではないかと思います。

また、スロープがなかったお店でスロープ設置を
けんとう ことば いただ こんご かんきょう
検討しようというお言葉を頂くなど、今後の環境
せいび せっきょくてき はなし き
整備に積極的なお話をお聞きできることもこの
かつどう い ぎ かん
活動の意義であると感じています。

もともと かおなじ みせ はじ みせ しゅざい とお
元々顔馴染みのお店も初めましてのお店も取材を通して
オーナーさんのお店への想い入れを知ることができるのも
この活動の醍醐味です♪

お店の魅力に触れることで、次はプライベートで
い こんど だれ さそ
行ってみよう!となったり、今度は誰を誘おうかな?と
なったり、自分たちにとってもワクワクする活動で
あると感じます。

わたし はっしん しょうがいとうじしゃ はじ いどうこんなん
私たちの発信が、障害当事者を始め移動困難と
さるるさまざまな当事者の方にとって、外出の幅を
ひろ みせ ちいき ひと
広げられ、お店や地域の人たちとの
コミュニケーションに繋がれば良いなと思います。

また、お店側にとってもバリアフリーや
みせがわ
合理的配慮について一緒に考えて頂く機会に
ごうりてきはいいよ いっしょ かんが いただ きかい
今後もしていきたいと思ひます!

ぶん つじた
文:辻田



じんじゃぶっかく 神社仏閣チーム

しぜん れきしてきけんぞうぶつ
～自然あふれる歴史的建造物にアプローチ!～

りょうこう い かんこう かんこう い じんじゃ てら
旅行と言えば観光!観光と言えば神社お寺めぐり!

ということで(?), じんじゃぶっかく こうだい せんしゅうちいき
というので、神社仏閣チームは、この広大な泉州地域に

ほうふ ちんざ じんじゃぶっかく めぐ
豊富に鎮座されている神社仏閣を巡っています!

じんじゃぶっかく い しぜん ばしょ なんびやくねん
神社仏閣と言えば、自然があふれる場所にもう何百年

いじょう ちんざ おお れきしてきけんぞうぶつ
以上も鎮座されているところも多く、歴史的建造物と

いう点で、他のチームとは一味違った味わいや発見が

いろいろ
色々あります!!

なので、そのあたりのことを、じゅん お つた
なので、その辺りのことを、順を追ってお伝えさせて

いただきたいと思います(^^) 

◆スポット選びはどのようにしている?

せんしゅうちいき じつ じんじゃぶっかく おお ちいき
泉州地域は実はなかなかけっこう神社仏閣が多い地域

なのです!

なので、ぜんしちょうそんつつうらうら すべ じんじゃぶっかく めぐ
なので、全市町村津々浦々の全ての神社仏閣を巡るのは

さすがにハードルが高!!

というわけで、こんかい はひとまず、「じゃらん」「ぐる旅」といった

かんこう けいさい ちゅうしん
観光サイトに掲載されているスポットを中心に、50スポット

ほどピックアップして巡っていくことになりました!

でもそれにしても、しらべれば調べるほど、今まで知らなかった

じんじゃ てら で で いま くら
神社やお寺が出てくる出てくる!(笑)



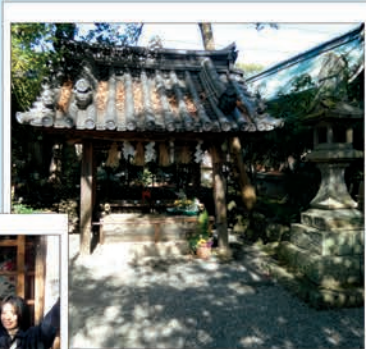
この辺りにこんな大きなお寺があったのね!?
 とか、こんなきれいな神社があったなんて
 知らなかった!?とかいうスポットがけっこう
 多くあります。

そういうところを一つひとつ、健常者の
 メンバーも障害者のメンバーも交えながら、
 色々巡っていています。

◆車イスの場合、砂利道や石段などどうやって行けるの?
 ～スポット巡りにまつわるアレコレ!～

神社やお寺を車イスなどで訪れるとなった場合に、一
 番最初に疑問に思うのは、「砂利道や石段のところがど
 のに、車イスでどうやって行けるの?」ということではない
 かと思います。私たち、電動車イスのメンバーも手動車
 イスのメンバーもいる中、確かに自分一人の単独では上
 っていけないケースが多くあります。

でも、私たちが神社仏閣巡りで意識している点は、
 「どうすればいけるのか?」というところに目を向けている
 ということです。例えば、砂利道や石段がある場所があっ
 たとしても、「手動の車イスならば行けます」や「周りの人
 に車イスを持ち上げてもらえれば行けます」といった方法
 を模索したり、段差でどうしてもいけない場所があったと
 しても、「他の道を通して回り道すれば行けます」など、極
 力何らかの形で可能な手段を模索して、その情報を発信
 するようにしています☆



あたら ほうほう はっけん
 そういった新しい方法を発見していくこともこ
 かつどう だいごみ ひび いろいろ
 の活動の醍醐味!といったところで、日々色々な
 はっけん
 発見をしています!

め まえ ひろ やま もり こうだい しぜん まんきつ
 ◆目の前に広がる山、森、広大な自然を満喫!

せんしゅうちいき しぜん おお とち せんしゅうちいき
 泉州地域は自然が多い土地で、その泉州地域にある
 じんじゃぶっかく こうだい やま もり しぜん かこ
 神社仏閣は広大な山や森など、自然に囲まれているところ
 おお くうき
 が多く、空気もととてもきれいです!!

だいしぜん なか くうき す てみず
 そんな大自然の中で、おいしい空気を吸いながら、手水
 や しゃむしょ ほんどう めぐ まい まいかい
 舎や社務所、本堂などを巡ってお参りをしていくのは毎回、
 ほんとう こころいや
 本当にととても心癒されています♪

めぐ
 また、スポット巡りだけではなく、各スポットで御朱印
 ちょう じんじゃぶっかく ごしゅいん あつ まわ
 帳にそれぞれの神社仏閣での御朱印を集めて回った
 か たの
 り、おみくじなどを買ったりもしながら、楽しみながら
 めぐ つづ さき
 スポット巡りを続けています☆ ここから先もまだまだ
 みりょくてき いろいろひか
 魅力的なスポットが色々控えていたりするので、どんどん新
 あたら
 しいスポットに行けるのが楽しみです!!

せんしゅう じんじゃぶっかく みな ぜ ひ
 泉州の神社仏閣に、皆さん是非いらっしゃ〜い!!

ぶん おかだ
 文:岡田



新人スタッフ研修



さくねんど はじ しんじん けんしゅう
昨年度から始まった新人スタッフ研修。

けんしゅう たんとう かいじょはけんかんりしゃ よしい
どういった研修なのか、担当されていたリアライズの介助派遣管理者でもある吉井さんと、この
けんしゅう う しんじん おこな
研修を受けた新人スタッフにインタビューを行いました☆

おも けんしゅう う ぜ ひ みな いちどく
それぞれどんな想いでこの研修を受けてきたのか、是非皆さんご一読ください♪

～なぜこの研修が始まった？～

いま じょうきんかいじょしゃ たい けんしゅう
今までリアライズでは、常勤介助者に対する研修は
いろいろ しんじん じょうきんかいじょしゃ ねんめ
色々やってきましたが、新人の常勤介助者(1年目)
とっか けんしゅう
だけに特化した研修がありませんでした。そして
かん じょうきんかいじょしゃ かた
この間、常勤介助者になってくれた方がリアライズを
はな じんざいていちゃく かだい
離れていくこともちらほらあり、人材定着も課題となっていました・・・。



じんざいいくせい ていちゃく もくてき しんじん じょうきんかいじょしゃ とっか けんしゅう けんとう
そこで!リアライズの人材育成・定着を目的として、新人の常勤介助者に特化した研修を検討して
いくこととなりました。

じつ わたし じょうきんかいじょしゃ とし いま しんじん けんしゅう ぜんしん けんしゅう
実は・・・私が常勤介助者になった年には、今の新人スタッフ研修の前身となる研修があったんで
すよね～!(/・ω・)/(10数年前)



とき ないよう さんこう じぶん じょうきんかいじょしゃ
その時の内容を参考にしつつ、自分たちが常勤介助者
になった時と今との違いなどを分析。

じょうきんかいじょしゃ とうろくかいじょしゃ へ
リアライズの常勤介助者は登録介助者を経てなっ
ひと おお かいじょ げんば はい
れる人が多いのですが、介助の現場だけに入っている
いがい かつどう うんどう
と、意外とリアライズでやっている活動や運動のことを
し ひと おお かん とく か
知らない人も多いなあと感じました。特にコロナ禍になっ
たここ数年は、以前の様に当事者の介助で

た い こうしゅう さんか きかい へ
他センターに行ったり、交渉に参加したりする機会が減っていました。

むかし とうじしゃ じむしょ せんぱいかいじょしゃ いろいろ おし きかい いま
昔は当事者や事務所のスタッフ、先輩介助者が色々とおしえてくれる機会が今よりもあったんだな
あと気付かされましたね。

ふ かえ へ ねんめ じょうきんかいじょしゃ たい ない かくぶもん やくわり うんどう
そんな振り返りを経て、1年目の常勤介助者に対するリアライズ内の各部門の役割や運動につい
けんしゅう さくせい た など がいぶ だんたい きょうりよく とくしよく
ての研修プログラムを作成し、他センター等外部の団体にも協力してもらいながら、CILの特色
うんどう まな けんしゅう
や運動について学んでもらえるような研修をスタートしました♪

☆研修の日程や内容は以下の通り☆

日程	研修内容	研修担当部門
5月25日	リアライズの成り立ち	本部
	リアライズの事業・取り組み	本部
6月1日	障大連学習会に参加 「障がいの理解」一映画『道草』上映&団体レポ	介助派遣
6月29日	リアライズで取り組んできた運動課題について	本部
7月～	リアライズの運動に参加する	本部
8月10日	オールラウンド事前学習会	生活介護 介助派遣・本部
8月19日	オールラウンド交渉 現地参加一日目	介助派遣
8月24日	オールラウンド交渉 現地参加二日目	介助派遣
9月21日	生活介護部門に密着	生活介護
10月5日	相談・エンパワメント部門に密着	相談・エンパワメント
10月21日	他センター訪問(夢宙センター)	介助派遣
11月21日	振り返り	介助派遣
12月16日	対市交渉(大阪市)	介助派遣
12月26日	介助派遣部門に密着	介助派遣
2月24日	振り返り	介助派遣
3月10日	活動報告会で発表	リアライズ共有会

けんしゅう ～研修をやってみて～

かいし ねんめ とし けんしゅうないよう
開始して1年目の年だったので、研修内容は
どういふものが良いのか、それぞれの部門や
たんとうしゃ いらい けんしゅうないよう けんとう
担当者に依頼をし、研修内容を検討していきました。
けんしゅうないよう こんご
研修内容は今後どんどんブラッシュアップして
いきたいなと思っています!



すこ くろう てん い じょうきんかいじょしゃ
少し苦勞した? 点と言えば、常勤介助者になるまで
かいじょけいけん けんしゅうないよう
の介助経験がそれぞれバラバラのため、研修内容は
えいきょう かんが ひつよう
そのバラつきが影響しないように考える必要はあり
ましたが、どんな介助者になってもらいたいのか、き
づきをえてもらいたいのか、そんなメッセージも込めな
がそれぞれの回で新人常勤介助者たちと話をす
ることができたと思います。

た ほうもん こんかい むちゅう いらい
他センター訪問は今回、夢宙センターに依頼をさせて
いただきましたが、ひらしたしゃちょうみずか けんしゅう いちぶ たんとう
平下社長自ら研修の一部を担当
してくださり、しんじん かつ しんじん かつ
新人たちに熱いエールを送ってくださいました!
この場をお借りして、あらた おれい
改めて御礼をさせていただきます!
しゃちょう むちゅう
社長、夢宙センターのみなさん、ありがとうございました～☆



みな しんじんじょうきんかいじょしゃ
皆さま、リアライズ新人常勤介助者たちの
こんご かつやく こ きたい
今後の活躍に、乞うご期待ください♪

ぶん よしい
文: 吉井



～新人インタビュー～

やまぐち はるき
山口 遥希

障害者の
声をきけ!!

新人スタッフ研修は、介助に関する基礎的な知識を身につけるだけでなく、リアライズでの自分の役割を把握し、また介助リーダーとして介助をこなすだけでなく自分の考え方を变える最初の一步だと思いました。

リアライズの歴史についてやスタッフ、コーディネーターなどの先輩方の役割を覚えていくことで、実践的なスキルを身につけて日々の活動で将来介助スタッフなどになった時に絶対役立つと知りました。

苦労したことは、他の事業所での活動内容について緊張のあまり、本来のパフォーマンスを発揮できなかったのが今後は、他のスタッフの方達とも交流を深めていき同期の横のつながりだけではなく、他事業所とのコミュニケーションも大切だと気付かされました。

印象に残ったことは、新人研修で学んだことで自分に足りない物を振り返り見つけるだけではなく、反省点として意味もなくモチベーションを下げずにプラスにして今後の研修でもむやみにミスを思い詰めずに具体的な改善方法を見つけ失敗の振り返りだけに終始せずに今後活かして行きたいと思いました。

おおもり ともや
大森 智也

新人スタッフ研修を受けて、様々な事を知ることが出来たと思います。特に衝撃的だったのは、現コーディネーターの皆さんが常勤2年目からコーディネーターをしている、ということです。自分が今ちょうど2年目でして今からコーディネーターをしたら「絶対無理イ!!」としか思えないです。上の人達はスゴいなあと日々感じていましたが理由が分かりました。くぐってきた修羅場が違いすぎますね(…そもそも修羅場をくぐったことすら無いのですが)。

その他にも、パイオニア創設の裏話を聴いたり、相談支援は自分には無関係なんてことは決してないことに気づいたり、夢宙センター代表の平下さんのお話が



終始胸に突き刺さったり等々、現場だけでは分からない事ばかりだと改めて気づきました。
この研修を受けたことでCILの活動に多角的な視点を持って取り組めるよう成長しなければなら
ない………んでしょうけど中々難しいっすね(汗)精進します。

あしむら こなつ
芦村 小夏

常勤新人ズは1年間、「新人スタッフ研修」として様々な事に参加してきました！
まずはリアライズの成り立ちから、介助派遣部門・相談支援部門等への理解、自立生活を描いた映
像作品の鑑賞、他センターへの訪問、オールラウンド交渉への参加、そしてみんなで考えること、自
分で考えたこと。
文字だけ見ると「堅苦しいことを勉強するんじゃないか」なんて
思っていたが、実際は体験型で楽しい研修が多く1人では手に
入れられない程のたくさんのことを吸収できました。
とくにオールラウンド交渉では会場の熱気を直に感じて
「ヤバイ、これが運動ってことか…!」とひとり感動。
みんなの言う“運動”に少しだけ触れられた気がします。
こんな風に感動したことや何かに気づけたことが心に
残っていると、これから起こる出来事も色々な見え方が
出来ると思います。
これ、進研ゼミでやったところだ!…のようにこの
学びを新人スタッフとして、いや先輩スタッフに
なっても活かしていきたいと思います!!



さかた ももか
酒田 桃花

この新人スタッフ研修でそもそも自立生活センターとはという基本
的な所から各部門のやっている内容を教えてもらったりと今まで
表面的・断片的にしか知ることができなかったものを実際に経験したり勉強
したり「リアライズについて」「自立生活センターについて」をより深く考える
機会になりました。特に他センターに訪問させてもらったり、オールラウンド
交渉に参加させてもらったりと、そういった普段の現場だけでは味わえない
ような「運動団体としての一面」に触れ合う機会が多かったことが自分の
視野を広げるキッカケになり、また外に向けた活動をもっとやっていきたいと
思えるような研修だったと改めて思うので、1年間参加し続けてきて充実した
研修だったと思います。



パートナー制度開始！！

いちねんかん
一年間やってみてどうでした！？

◇パートナー制度とは？

リアライズの新たな取り組みで、2年目以上
の常勤介助者が新しく入った常勤介助者と
パートナーとなり、サポートやフォローをして
いく中で『共に成長していく』
ことを目指す制度です。

いちねん とお おこな せいど
一年を通して行った『パートナー制度』
せんばい こうはい よ てん なや てん
先輩・後輩、それぞれが良かった点や悩んだ点を
はな
話してくれました！
かれ かのじょ なに かた
彼、彼女たちは何を語るのか？
ひっけん
必見です！！

せんばい おも き
まずは先輩たちの想いを聞いてみましょう！

ぶん ふじもと だいち
文：藤本 大地

パートナー：
やまぐち はるき
山口 遥希

きたい ふあん い ま
期待と不安が入り混じったままスタートしたパートナー制度ですが、最初に感じたのは
けんしゅうしゃ たい じぶん にんげん し ひつようせい
研修者に対してまず自分という人間を知ってもらう必要性でした。

もちろん、研修担当者という役割として当事者とのコミュニケーションの取り方であつた
り、身体介助の方法など伝えるべき点は多々あります。しかし、単にそれを伝えるだけでは
あいて けんしゅう たんとう ひと ひと か こ かいじょ なか じぶん
相手にとってただ研修を担当してもらう人にしかならないので、過去に介助の中で自分
かん き も しっぱいだん はな みちか さんざい じぶん くふう
が感じた気持ちや、失敗談を話したりしてより身近な存在になれるように自分なりに工夫
しました。

じっさい と く おこな けんしゅう すす けんしゅうしゃ きょりかん ちぢ
実際そういった取り組みを行いながら研修を進めると、研修者との距離感が縮まり、より
たが りかい ふか ほはば あ すす で き おも
お互いの理解を深めて歩幅を合わせながら進めることが出来たと思いました。

いっぽう あいて つた とき ことば じぶん あいて く ちが たびたび
一方で、相手に伝える時の言葉が、自分と相手でイメージが食い違っていることが度々
あつたので、どのように伝えれば相手に伝わるかという言葉選びや、普段自分がしている
かいじょ こうとう つた ひょうげん など めん むずか かん
介助を口頭で伝えるにはどう表現すればいいか等、アウトプットの面で難しさを感じたの
で、今後また人に伝えていく時にどう伝えれば相手に伝わるのかという点を考えるきっか
けにもなりました。

けいけん つぎ い い おも
これらの経験をまた次に活かしていければ良いなと思います！

ぶん さかた ももか
文:酒田 桃花

パートナー:
あしむら こなつ
芦村 小夏

わたし たんとう ところが おも ねん かだい と く
私が担当させてもらった所では主に「コミュニケーション」を1年の課題として取り組ん
でいきました。身体介助を教えるのとは違い、コミュニケーションの取り方を考えるのはな
かなか複雑で難しい面もありましたが、みんながたくさん協力してくれたおかげで最後ま
で進めることができました。

ばんむずか ちゅうりつ た かんが ほんとう むずか じょうきょう
1番難しかったのは中立に立って考えていくことが本当に難しかったです。状況によれば
どちらの気持ちもわかる場面もあるのでそういう時どちらかの意見に偏りすぎないように
意識しました。

ねんかん たんとう よ おも いっしょ ひとたち せいちょう ばんちか
1年間担当してみて良かったと思うことは、一緒にやってきた人達の成長を1番近くで
見守ることが出来ることはもちろんのこと、それ以外にも自分自身の気付きになったり介助
の幅が広がったりと自分の成長に繋がった事がとても良かったと思います。自分自身が介
助に向き合う大きなきっかけになったのでまた機会があれば次もやりたいと思っています。

ぜんいん はじ せいど こうはい おも 全員が初めての制度、後輩たちの想いとは！？

ぶん やまぐち はるき
文:山口 遥希

パートナー:
ふじもと だいち
藤本 大地

パートナー せいど はじ ねんちか さいしょ せいど うれ こころづよ
パートナー制度を始めてから1年近くたち最初は、パートナー制度ができたことが嬉しく心強
いと感じました。話す内容としては、最近の介助についてのアドバイスをもらったり、ひと工夫
入れた改善点など真剣に向き合ってくれ、前回よりも話の内容も増え気軽に話せるようになり
ました。介助以外の話でもお互いのモチベーションの維持や最近の出来事などを合間に話
をしたり、普段はあまり介助以外で話すことがなかったので全然関係のないことでも話すよ
うになったり毎日の聴き取りがとても楽しみになりました。パートナー制度が始まる前から介
助の研修でサポートしてくれていたのもあってパートナーになってからもアドバイスをもらっ
たりで、将来後輩ができた時も先輩からもらったことを忘れず取り組んで行きたいと思いました。

ぶん あしむら こなつ
文: 芦村 小夏

パートナー:
さかた ももか
酒田 桃花

さくねんど はじ せいど
昨年度から始まった「パートナー制度」。

せんばい こうはい く ひび かいじょ お ちい なや おお なや
これは先輩と後輩がパートナーを組んで日々の介助で起こる小さな悩みから大きな悩みま
いっしょ かんが かいけつ しっぱい せいこう いっしょ けいけん と く
で一緒に考えて解決していく、失敗も成功も一緒に経験する!をテーマにした取り組みです。

ほうほう おも
“もっといい方法があるはずなのに思いつかない”

せいかい わ おこ
“正解かは分からないけど怒られてないしとりあえずやっておく”

なや
“もはやこれって悩み?”

ささい みちか せんばい けいけん まじ さいてきかい いっしょ かんが
こんな些細なモヤモヤを身近な先輩が経験を交えて最適解と一緒に考えてくれます。

わたし ばあい むずか い わ
私の場合はコミュニケーションが難しく、「ありがとうとごめんなさいを言うタイミングが分
うそ はじ
からない」という嘘みtainなレベルから始まりました。

とき できごと むずか あら だ
ここでやったのはどんな時に・どんな出来事で難しくなるか洗い出すこと。

たが にんしき かんかく ちが げんごか す あ かいじょ
お互いの認識や感覚の違いを言語化し擦り合わせていくことでよりスムーズな介助がで
るようになりました。

じぶん かいじょ だいさんしゃ いけん あたら しや いま はっそう さら ほう
自分の介助に第三者が意見をくれることで新しい視野や今までなかった発想、更にいい方
ほう み でき
法を身につけることが出来ました。

と く うら せんばい どりよく き
この取り組みの裏には先輩の努力があったと聞きます…。

さか ほんとう
酒ちゃん本当にありがとうございます!!



きょうゆうかい リアライズ共有会

リアライズ独自の取り組みとしてここ数年全員で取り組んできたリアライズ共有会。

毎年進化を遂げ、今までも様々な取り組みを行ってきました。

今回はそんな進化を続けているリアライズ共有会を、この1年間メインパーソナリティとして支えてきた「ひろし」こと山本 啓司さんに想いをつづっていただきました!

多くの場所でも起こっていることですが、リアライズでもコロナの影響で、人と人が一緒に活動することで積み上げられる関わりが少なくなっていると感じています。そうなることで、これまで

リアライズの中で大切にしてきた文化が、みんなにとって身近なもの

として感じられる機会も少なくなっていると感じています。また、新しくリアライズに来た人たちにとっては、これまでの世代では当たり前になられてきた関係性が、当たり前になれずなくなりました。



今年は、感染予防に努めながらも対策に徹するだけでは、人間関係が凝り固まってしまう現状を打開していこうと、ゆっくり蛇口を緩めるように、交流が増えてきた一年でもあり、その中で今年度の共有会はスタッフやパイオニアメンバーが同じ場に集まってすることができました。途中コロナ感染拡大で中止になったこともありましたが、一年間通して満足のいく形で取り組むことができました。

共有会の内容ですが、多くのスタッフ、メンバーが久しぶりに対面で集まることができたので、改めて『リアライズの理念を知ること』や『その中で自分が担っていききたい役割』などのテーマの軸に置き、いろいろなグループワークをしてきました。グループワークで扱った内容は…



とく組んできたグループワーク

- ①「この人のイトコ探し」周りから自分はどんな風に見えるのか?
- ②「自分が担っていききたい役割」って何?
- ③担っていききたい役割に就くためには、自分に何が足りないのか?
- ④みんなのアドバイスで「自分の担っていききたい役割」を

ブラッシュアップ!

- ⑤一年通して見えてきたことをKPTシート(KEEP「し続けたいこと」、PROBLEM「自分の課題」、TRY「これからしたいこと、課題に対して取り組みたいこと」)に落とし込んで、発表!



ワークしたから、みんなと話せたからということで、何かがすぐに変わるわけではありませんが、これをきっかけに『新しい自分の役割』を見つけたり、リアライズの中での『自分という大事な役割』を気づけたり、「自分を理解してくれる仲間がいること」を意識できればいいなと思います。

文: 山本



参加者からの感想 (一部抜粋)

グループに分かれてリアライズでしたいこと、目指したいことや、こうゆう自分になりたい、相手から見た自分など人の意見や考え方を真剣に考えて話し合うことで、また新たな考え方などを知れてとてもいい機会でした。

自身の考えや、今まで培ったことを相手に伝えるのがいかに難しいかを知れましたが、少しノウハウが分かったと思うので、これを生かして次に繋がりたいと思いました。

文: 新里



2022年度の共有会はコロナの流行のため中止せざるを得ない時もありましたがzoomによるリモート会議を行いつつ、極力顔を合わせて行えるよう積極的かつ慎重に共有会を行っていました。

僕は今年度の共有会は共有会としての役割を十分に発揮できたと感じました。

山本啓司さんが音頭をとって進行を行い、当事者同士やヘルパー同士、違う立場からの意見などを多く分析出来たり、自分側から発言する事で自己覚知にもなっていました。

顔を合わせた会議ではポストイットを使うことでよりわかりやすかったです。

個人的に1番印象的だったのが10月にあった隣りの人の良いところをひたすら挙げていくホメホメ共有会です。色んな意味で恥ずかしかったです。

文: 寺田



2022年度に念願の自立生活を 開始したかずみん！！

ほんしどくせん
本誌独占
インタビュー！！

(辻田) 家はどのように探しましたか？

(井岡) リアライズのメンバーに紹介してもらった不動産屋さんに行き、探してもらいました。

今の家の決め手は広くて安かったことです。使い勝手はその時はあまりちゃんと見ていませんでしたが、住んでみるととても良かったです。

(辻田) 家の中の工夫は？

(井岡) 改修をあまりしなくても済みました。和室をフローリングにしたくらいです。お風呂場の段差もあまりなかったで改修はしていません。

(辻田) 自立生活はいつから？

(井岡) 2022年9月の中頃です。本当は9月初めの予定でしたが、コロナに罹ったので後倒しになりました。

(辻田) 介助を使うことについてはどうだった？

(井岡) 始めはいろんな介助者と関係性をつくるのに緊張しました。自分で伝えないとーというプレッシャーもありました。けれども、自立体験を重ねていくことで、少しずつ慣れてきました。

(井岡) 始めはいろんな介助者と関係性をつくるのに緊張しました。自分で伝えないとーというプレッシャーもありました。けれども、自立体験を重ねていくことで、少しずつ慣れてきました。

(井岡) 始めはいろんな介助者と関係性をつくるのに緊張しました。自分で伝えないとーというプレッシャーもありました。けれども、自立体験を重ねていくことで、少しずつ慣れてきました。



(辻田) 自立して良かったことは？

(井岡) お母さんとのけんかが減ったことです。家族と良い距離感をつくれたことが良かったです。

あと、一人になれる時間が増えたことが良かったです。

(辻田) 今困っていることは？

(井岡) まずはお金のことです。お金の管理の方法が難しいので、介助者や相談員のチンちゃん(鎮西)と一緒にこれから考えていきたいと思っています。

体調については、入院をちょこちょこしてしまうので、気を付けながら生活していきたいと思っています。あと、ご飯のレパートリーを増やしたり、たくさん作れるように時間を工夫したりするのをもっとできれば良いなと思います。

(辻田) これから自立を目指す人に伝えたいことは？

(井岡) とにかく自立は楽しいです。自分の想像より自立生活は大変やし、しんどいこともありますが、一人の時間を大事にしたり、しんどいときに誰かに話を聞いてもらったりすると楽になります。

とにかく楽しいことも多いので、いろんな人に自立生活を薦めたいなと思います！

2022年9月に満を持して自立生活をスタートさせたかずみんこと、井岡和美さん！
約1年間の自立の取り組みを経て、夏頃に家探しを始め、9月によりやく新居での生活をスタートさせました。

そんなかずみに改めて自己紹介や、これまでの生い立ち、自立までのアレコレなどをインタビューさせて頂きました！

また、ずっと自立の取り組みをサポートしてきたひいちゃん(吉井ひかりさん)にもいろいろお話を聞きました！

まずはかずみんへのインタビューの模様をお伝えします！



(辻田) はじめに簡潔に自己紹介をお願いします！

まず！

(井岡) 井岡和美です。1997年11月生まれで泉大津市の隣の和泉市出身です！

(辻田) 自分の障害についてはいつ頃意識するようになりましたか？

(井岡) 小学校1年生の頃かな？あまり覚えていないです。

小学校は地域の普通校に、中学校と高校は支援学校に通っていました。

(辻田) 学生のときのエピソードや大変だったことなどは？

(井岡) 中学・高校の時に修学旅行に行ったことかな。東京に行きました。デイズニerlandに行けたことが楽しかったかな。

家族以外の人と旅行に行くのが初めてだったので、とにかく興奮していました！
学校時代は手術や入院が本当に多かったけど、学校生活は楽しかったな。友達関係もよかった。学校内だけで、外ではあまり遊ばなかったです。



(辻田) 自立を目指すようになったきっかけは？

(井岡) 今、日常の介助してくれている母もいずれかはいなくなるんじゃないかと感じたときです。

興味は昔からありました。けれども、母親が「自立をして欲しい！」ということで、リアライズを紹介してくれたのが一番大きかったです。

(辻田) 自立ってどういうイメージだった？

(井岡) どんなやろなーって。一人暮らしすごいなあと思っていました。

ただ、自分には無理だと思っていました。自分一人で暮らす自信がなかったです。そんな中、リアライズの当事者が実際に取り組む姿を見て、自分でもなんとかなるかなあと思って元気になりました。

(辻田) 自立への取り組みを実際にしてみようだった？

(井岡) コロナ禍やったり、自分の体調などがあって想定よりちよつと遅れていました。なので、自分でも焦っていました。自立体験宿泊では、ご飯を作るのにうまく指示できず、想定より時間が掛かってしまったことが大変でした。



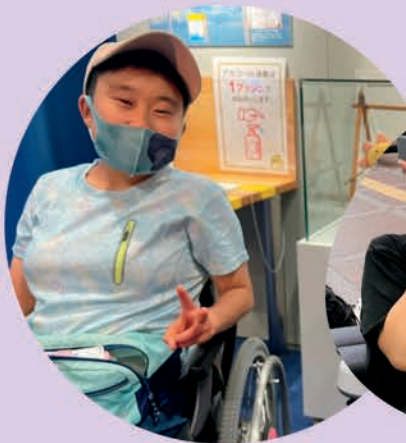
つづ とうじしゃ せいかつ ちょうせい
 続きまして、いつも当事者の生活の調整をしてくれている
 かいじょはけんかんりしゃ よしい
 介助派遣管理者のひいちゃんこと、吉井ひかりさんへの
 もよう つた
 インタビューの模様をお伝えします！

(吉井) 実際の自立生活が始まると、自立
 体験の時には感じていなかったこと
 でも悩みが出てくるのかなあと
 思ったので、そのギャップを少しでも
 埋めることができるようにサポート
 しています。

(辻田) これから自立生活を目指す当事者、
 またはサポートをしていく介助者に
 向けてどんなことを伝えたいですか？

(吉井) いろんな初めてを発見していく楽しさ、
 好きなことを突きつめていく楽しさ、
 楽しいだけじゃない、たまに「やってもう
 た〜」という失敗もあると思いますが、
 それも含めて自立生活！

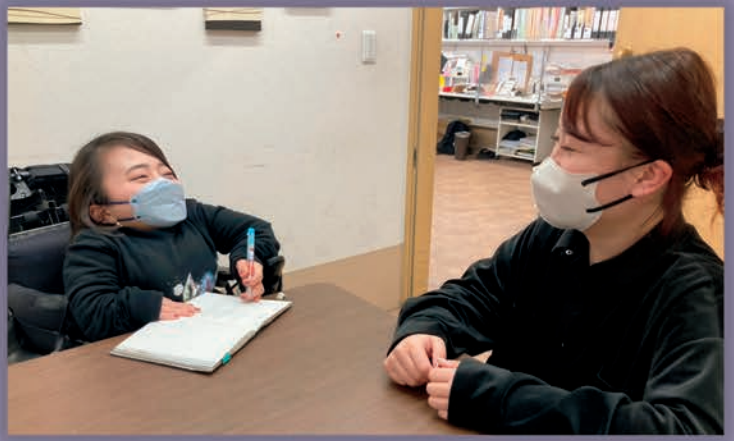
失敗しない人なんていないし、それも
 経験やね、と一緒につきあってくれる
 仲間がいるので、まずはいろんな人の
 生活を知るのも楽しそうですね☆
 誰でも、最初の一步はよくわからなく
 て踏み出すのに勇気がいると思うので、
 介助者はできるだけその不安を少しで
 も減らせるように、情報提供や「一緒に
 考えるよ〜」という気持ちを当事者に
 伝えていくことができたらいいなと
 思いました♪



し ことば つじた
 ～締め言葉～(辻田より)

じりつ ま
 自立して間もないかずみん！

いま かべ にがて おも
 今もいろんな壁にぶつかったり、まだまだ苦手なこともあると思い
 ますが、せっかく手に入れた今の生活をこれからも存分に謳歌し
 て い いま せいかつ ぞんぶん おうか
 てほしいなと思います！



(辻田) かずみんとの出会いは？

第一印象は？

(吉井) リアライズでやっていたイベント

(もちつき大会) かな？元気で、よく車いすで動き回っている女の子や、な〜と思っていました。

(辻田) 初めてかずみんと出会った頃と

パイオニアで活動を始めた頃とで何か、かずみんの印象などは変わりましたか？

(吉井) 出会ったところからいろんな人と積極的に話している印象だったので、

人前で何か発表するときに「どうしよう：？」と緊張していたのは意外だったかも。

(辻田) 自立の取り組みにおいて、どんなことを大事にしながらサポートして

きましたか？

(吉井) かずみんは一人暮らしを早くした

い！という想いが溢れていたの、一回一回の自身体験で何を目的にやるのかの確認をすることを大事にしなから、一緒に取り組んでいました。

(辻田) 自立の取り組みにおいての印象的な

エピソードはありますか？

(吉井) 銅に入れるつもりだったネギの

大きさが、かずみんが指示していた大きさと介助者が想像していた大きさとで全然違っていたことです！ズレあるあるですね〜

(辻田) 自立の取り組みにおいて何か苦労

したことはありますか？

(吉井) かずみんが自立生活までの道のりを

どうやったらイメージできるか、何がわからないのか、聞き方や振り返り方は試行錯誤しました。

(辻田) 遂に自立生活をスタートするという

実感があつたのはどんな時ですか？

(吉井) 家が決まったときですかね。

(辻田) 自立生活をスタートしてからどんな

ことを思いながらこれまでサポートしてきましたか？

いずみおおつ 泉大津TRY Season2 やっています!!



みな
皆さんこんにちは!

2019年1月より始動している泉大津TRY Season2ですが、おかげさまでスタートから3年が
経った今でも、地元泉大津のたくさんの方々とともに地域に根差しながら活動できています!!

ではまず最初に、泉大津TRY Season2とはどのような活動なのか?改めてご説明致します☆

いずみおおつ

泉大津TRY Season2とは…?



1.泉大津市内のお店に募金箱を置き、地域のバリアフリーのネットワークをつくる!

(事業者+市民+リアライズで継続的につくる☆)

2.毎月第1土曜日に地元の南海泉大津駅前街頭募金を行う!

(市民+リアライズでの協同)

3.募金箱を置かせてもらった段差のあるお店に、スロープを設置!



2022年も募金箱を広げ、街頭募金を続け、また協力店舗に感謝の気持ちを伝えるために感謝
状の贈呈も行っています! 2022年には、私たちの活動がメディアにも注目され、7月にはNHKの
ニュース番組「おはよう関西」から取材を受けて、8月に放送されました!

お店の人や市民と一緒につくっていくバリアフリーということで、活動を始めた私たちの想いはは
じめ募金箱やスロープを設置しているお店が取材され、泉大津TRYのことが今まで以上に多くの
人に広く知ってもらえるきっかけになりました!

以下その活動の一つひとつ、詳しくお伝えいたします♪

みせ ぼきんぼこせっち お店への募金箱設置

お店への募金箱設置は泉大津TRYの活動の中でも肝となる活動!
募金箱を設置することによって、お店の人やお店を訪れた人に日ごろから
日常的に募金に協力してもらえるようになります。



そして、バリアフリーを進めていくための募金が継続的に集まっていき、
泉大津でのバリアフリーのネットワークが色々な人の手で少しずつ
できあがっていくというものです!





事業者の側にバリアフリー化の意志があっても、予算や立地の関係で
難しかったり、適切な実施方法が十分に浸透していなかったりと、実施に
一定のハードルがあることも少なくありません。…ならば、お店の人や市
民と一緒に、みんなでバリアフリーのネットワークそのものをつくろうとい
うわけです!!

福祉や障害者運動とは別のジャンルである一般のお店の人が地域の
バリアフリーについて共感を示してくれて、募金箱設置などのバリアフリー
推進に私たちとともに取り組んでいることに大きな意義を感じています!
募金箱の設置も、スロープの設置とあわせて多くのお店での設置があり、
2022年12月現在で全16軒のお店に設置中です☆



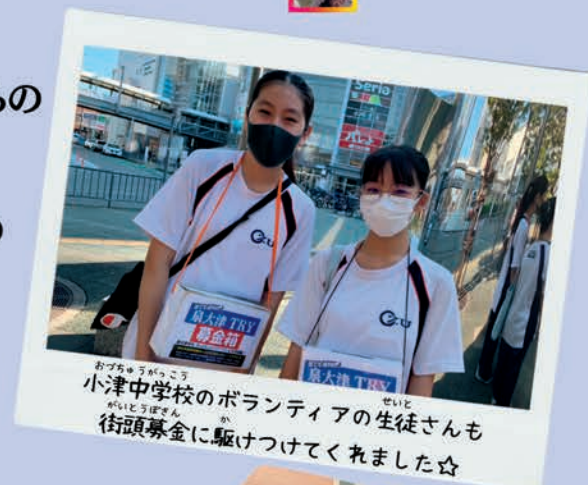
がითほきんかつどう 街頭募金活動

活動当初から定期的に毎月第1土曜日の14:00-17:00まで、泉大津駅
前で街頭募金活動を行っています!

この一年間もたくさんの人と一緒に活動することができ、
以前に一度協同した地元の泉大津市立小津中学校の
ボランティアの生徒と再び協同できたり、地域でつながって
いる人と協同できたりなどなど、たくさんの方と一緒に活動を
続けてきました!(^^)

コロナの影響で実施ができなかった月もありますが、募金が
できる月はチラシを配り声を届け、みんなで力いっぱい私たちの
想いを市民の皆さんに伝えました!!
街頭募金を続けて早3年になりますが、未だに多くの方からの
募金が集まり、泉大津市の皆さんの温かさや想いのアツさを
日々肌で感じている次第です!!

2022年も6月、7月、9月、10月、11月、12月に実施し、
全6回で総額130,629円の募金が集まりました!!



かんしゃじょう そうてい 感謝状の贈呈

ぼきんばこせっち せっち ひ わたし
募金箱設置やスロープ設置など、日ごろから私たちのバリアフリーの
と く きょうどう みせ め み かたち かんしゃ おも つた
取り組みに協同しているお店に、目に見える形で感謝の想いを伝えて
いきたい!

…というわけで、^{ぼきんばこせっち}募金箱設置や^{せっち}スロープ設置をしている^{みせ}お店に
^{かんしゃじょう}感謝状を^{そうてい}贈呈しています☆(^ ^)

そして、改めて私たちの想いを伝える貴重な機会なので、記録に残さないともったいない!

そんなわけで、^{みせ}お店に^{かんしゃじょう}感謝状を持って^も行っている様子や、^いお店の人に^{ようす}感謝状を^{みせ}読み上げて^{ひと}お渡ししている様子を^{かん}動画でも^{かん}収めさせていただ
いています♪

いつもお邪魔している時とは少々違った、ちょっぴりかしこまった雰囲気
^{じゃま}に若干緊張しながらも(笑)、^{とき}感謝の想いを^{しょうしやうちが}改めて伝えられる大切な機
^{じゃっかんきんちやう}会となっています! ^{わら}どのお店の^{かんしゃ}方もとても感謝の気持ちを示してくださ
^{かい}り、^{おも}想いがつながる喜びを^{よろこ}改めて^{あらた}かみしめています!!

^{ねん}2022年12月現在で、^{がつげんざい}店頭募金箱への^{てんとうぼきんばこ}募金^{ぼきん}126,743円、
^{がいとうぼきん}街頭募金^{えん}449,586円、^{たきふきんなど}その他寄付金等^{えん}57,024円が集まっています、
^{そうがく}総額^{えん}633,353円の^{ぼきん}募金にご協力いただきました!!
^{ぼきん}募金にご協力いただいた皆様には^{きやうりよく}感謝しかございません!

いずみおおつ ^{ぼきんかつどう}泉大津TRYの募金活動は

まいつきだい ^{どようび}毎月第1土曜日の14:00~17:00 まで

なんかいいずみおおつえきしやうへん ^{がいとうぼきん}南海泉大津駅周辺で街頭募金を行っています!

^{ちか}お近くにお立ち寄りの際は^たぜひ^よ募金への^{さい}ご協力^{ぼきん}のほど、
^{ねが}よろしく^{きやうりよく}お願いいたします!

ぶん おかだ
文:岡田



「泉大津TRY」報道の舞台裏

～人と想いのコラボレーション～

大学時代からの親友、川口泰司。彼は三井が影響を受けた人のBest3に入る人物だ。障害を受容しきれてなかった当時の三井を自分と向き合うステージに上げた張本人。恩人と言うとニヤリと笑みを浮かべそうなので言いたくないけど、そう言っても過言ではない。

彼は被差別部落の当事者としてのアイデンティティーをもち、出会った時にはもうすでに1000人を超える聴衆を目の前に自身の人生を語っていた。そんな、彼が「講演活動」という自分と向き合っている姿に心を揺さぶられ、彼に騙されるかの如く三井自身も自分と向き合うために講演活動をはじめることになった。

自分は、川口という友人(=部落解放運動)と自立生活センターという拠点(=障害者自立生活運動)とつながったことで、「障害と差別と自分」について、良い

バランスで向き合えるようになり、彼もまた障害者である三井と出会い今の自分がいるという。ステージは違っても、いつかどこかで「人権コラボできたらいいな!」とよく話していた大学時代。

それから20数年。ある日のこと…。NHKで放送中のバリバラで、「水平社創立100年記念」として「部落差別×障害者」の特別番組が企画された。そして、彼と番組ディレクターとの会話に登場したらしく、三井に出演のオファーが舞い込んだのだった。



2022年10月 川口さんにリアライズの研修で講師をしていただきました♡



研修後の親睦会にて、川口さんと記念撮影☆



その電話口の向こうにいたのが中嶋ディレクター。そして、
中嶋さんとの飲み屋での打ち合わせに登場したのが森下プロ
デューサーだ。二方ともに当事者なのかと思うほど、めちゃくちゃ
熱い想いをもった人で本気でやろうとしていることがひしひしと
伝わり気づけば、部落問題の重鎮の中でパネラーの障害者は
ひとりだけという不安をよそに引き受けていた。言わずもがな、
そんな熱いメンバーによって番組は大成功に終わった。

しばらくして、中嶋さんから「バリアフリーの取り組みについて取材
したい人がいる。」と連絡があった。

そして、つながったのがNHK朝のニュース番組「おはよう関西」の
野阪ディレクター。野阪さんは、非常に正直な方ですごく勉強熱心な
方だった。初めてお話しした日に、「障害者との関わりがほとんどなく
全く知識がないので一から知っていききたい。」という素直な想いを
伝えてくれた。

その想いに応えるために、バリアフリーのフィールドワークに出かける
ことにした。そして、その舞台に選んだのは、日本最長の天神橋筋商店
街。日本一たくさんの店が並ぶ商店街で、電動車椅子で段差なく入れ
る焼肉屋で打ち合わせをするという企画を伝え、お店探しのポイン
トも合わせて伝えた。すると、「わかりました!お店を探しておきます。」
と元気いっぱいの返事が。しかし、しばらく後になって、「なかなか見つ
からないです…。」という元気のない連絡があった。結果、現地で待ち
合わせをして一緒にお店を探すことになった。

現地で落ち合ってから1時間ほど経ったのだろうか。商店街の端
から端までを歩いて焼肉屋を探し続けたが、200kg超の段
差に弱すぎる三井号(電動車椅子)で入れそうなお店は見当
たらず、最終的にステーキ屋に変更することとなった。



写真は様々な取材を受ける三井



「こんなに無いとは思いませんでした。三井さんたちが泉大津TRYをする意味がわかりました。」と、言ってくれた。そして、いくつかの取材候補の中から、「泉大津TRY」を取り上げたいという話をいただいたのだった。

とまあ、前振りが本題のように長くなったが、障害者と市民と事業者が三位一体となるスタイルで人とのつながりを大切にしながら取り組んできた「泉大津TRY」が、新たな人とのつながりによって、テレビを通して社会とつながる機会を得たのだ。



前述のような出会いの日を皮切りに泉大津を幾度となく訪問し、泉大津TRYへの参加、障害者へのインタビュー、TRY協力店への熱心な取材を何日も繰り返し行ってくれたのだ。泉大津TRYが単にスロープを配布する活動と捉えられてしまわないようにと抜群の心遣いをしてくださっていた。

そして、本番。テレビから流れる映像は、泉大津TRYに対する野阪さんの応援の気持ちがあふれていた。

私達だけでなく地域の方々にもスポットを当てて、「みんなでつくる活動」という趣旨を再現してくれていたように感じる事ができた。また一つ、出会えてよかったなと思えたつながりがそこにあった。

そして、放送終了後。家から駅までのわずか数百メートルの移動中に、「ニュース見ましたよ!」「応援してます!」と、いつも前をとるお店の方々から声をかけてもらえたのだった。野阪さんの想い、報道がもつパワー、日々のみんなの活動が一つになった気がした。

最後になりましたが、記者のNさんをはじめ、NHKのみなさん、本当にありがとうございました!

ぶん みつみ
文:三井



パイオニア活動紹介

パイオニアのメンバーが日々行っている活動、そのごく一部にはなりますがそれぞれのメンバーから活動内容のご紹介をさせていただきたいと思えます。

がっこうこうえんかつどう 学校講演活動



パイオニアでは地域の学校に出向いて講演をおこなったり、校内でフィールドワークをおこなったりと様々な方法で学校講演活動をおこなっています。自立生活センターの理念やリアライズの活動を知ってもらったり、身近にあるバリアやその解消法など、小学校・中学校・高校・大学・専門学校と講演先によって内容などを担当で話し合っ、自分たちの伝えたいことをできるだけ分かりやすく伝えられるよう活動しています。



ここ数年はコロナの影響で対面での講演が難しい状況が続いていて、その中でもオンラインでの講演や、講演の準備等できる範囲で活動していました。

2022年は徐々に対面での講演も出来るようになってきて、6月7月には和泉市の国府小学校、10月には泉大津市の穴師小学校でそれぞれ人権学習についての

フィールドワークをおこなうことが出来ました。内容はリアライズの紹介や学校内のバリア調査とバリアの解消法を校内を周ってもらいながら考えてもらったり、メンバーに聞きたいことを聞いてもらう質問コーナーなどおこないました！





ひさ たいめん こうえん げん き しょうがくせい すがた み
 久しぶりの対面での講演で元気な小学生の姿を見れた
 り、質問コーナーでの沢山の挙手と答えきれないぐらい
 のいっぱい質問に、やっぱり対面でおこなえる活動
 てええもんやなあと改めて感じました！
 こうえんご こども はなし き よ
 講演後、子供たちから話が聞けて良かった・また来てね
 など かんそう か てがみ こうえん で き
 等の感想が書かれたお手紙をいただき、講演出来てよ
 かった!とか次はもっといい講演にしよう!とメンバーから
 さまざま こえ で
 様々な声が出ました。

ぼ こう こうえん
 母校で講演をおこなえたメンバーもいたので、そのつながりも
 だいじ おも
 大事にしていきたいと思えます。

あら がっこう つな こうえん よてい
 また新たな学校との繋がりができたり、講演の予定が
 はい こんご かつどう たの
 入っていたりと今後の活動も楽しみでやりの
 あることが盛りだくさんとなっております。

たんとうしゃ ちゅうしん
 担当者が中心となり、メンバーみんなでパイオニア
 らしさを出しつつリアライズの事を知ってもらえるような
 こうえん とど おも
 講演を届けていきたいと思っています！

ぶん まつもと
 文：松本



なかま 仲間づくり活動



もっと泉州地域で新しい当事者との出会いを探そうという
コンセプトに始まった2022年の夏頃、「地域の方々と一緒に
気軽に楽しめることは何か」を担当者で考え、色々な案が出た
中でボウリング大会を開催することとなりました。

この企画の参加者を募集する為、ビラ作成、支援学校や福祉
事業所周り、周知にリアライズメンバーやパイオニアメンバーが
分担をし、数人で何日かに分けて訪問して、企画の趣旨などを説明し、
周知ビラを置かせていただきました。ある周知のチームは徒歩で往復
約1時間かけていきました。

だんだん日が迫ってくるにつれて、事前の打ち合わせをする時にどうい
うふうに企画側のメンバーに伝えていくかなどを考えました。
そして本番当日、どんな人達に出会えるかなあと楽しみにしながらドキドキ
していました。



当日を迎えると参加者の人達が続々と集まって

きてくれて、あいさつもそこそこに3つの近くの飲食
店に分かれて昼食をとりました。お店の広さや人数
の多さで少し入店に時間がかかりましたが、無事
参加者の人達とコミュニケーションを取りながら相
手のことを知っていくことができました。

そしていよいよボウリング場へ行き各チームに分かれてシューター（ボールを転がす滑り台のよ
うな道具）を使ったり自分で投げたり、当事者が各々のやりやすい方法で楽しんでいました。
ボウリング自体が初めての人もいましたが、すごく楽しそうな笑顔や仕草などを見ることができ、
担当者の一人として嬉しく思いました。後日景品として入賞者を招いてお茶会を開催し、その後
の近況などを話し合いました。すごく楽しい有意義な時間となりました。

ぶん もり
文：森



さべつ これって差別？ディスカッション



「これって差別？ディスカッション」(以下、「これさべ」)では、
出題された事例に対して差別と思う派と思わない派に分かれ、それぞれの立場からの意見をディスカッションして、
最終的にパイオニアとしての一つの答えを出すという形で進めています。



まず、この活動ができた経緯を説明したいと思います。
パイオニア活動では、障害者運動(障害者の権利を守る活動)をベースに考え、
いろんな活動をしています。活動の中では、『差別とともに闘う』と
いう言葉が、いろんな場面で登場します。

そんな時々を感じるのは、障害者という立場は一緒ですが、メンバー
によって「差別の捉え方」は違うのではないかという問いです。

もちろん、メンバーとしての経験、年齢、生きてきた経験や背景、生きてきた
時代を踏まえると差別の感じ方が違うのは、当然という見方もできます。

「これさべ」では、実際あったもしくは、ありそうな差別事例をもとに、それぞれの
メンバーから見える「差別」を、(障害者運動での正解を無視して)話すことで、
メンバー同士の理解を深め、そこから「自分たちにとって運動とは何か？」が
見えてくるのではないかと取り組みです。



昨年度は2回だけしかできていないのですが、実際やってみるといろんなことが見えてきました。

例えば、「ディスカッション、よーい、はじめ!……あ～みんな同じ意見ね。こりゃディスカッション
にならへんねえ(笑)」でも、逆に言うと、この事例に関しては、みんな同じ目線で立っていることが分
かりました。一方で、ディスカッションとして成立した事例もあり、その中では、自分の体験や価値
観、感じ方の話が進んでいきます。そうすると、その人への理解や差別に対しての考え方が一歩進
むこともありました。

今後は、差別だけでなく、身体拘束や虐待というテーマにも広げて、続けていきたいなと思ってい
ます。

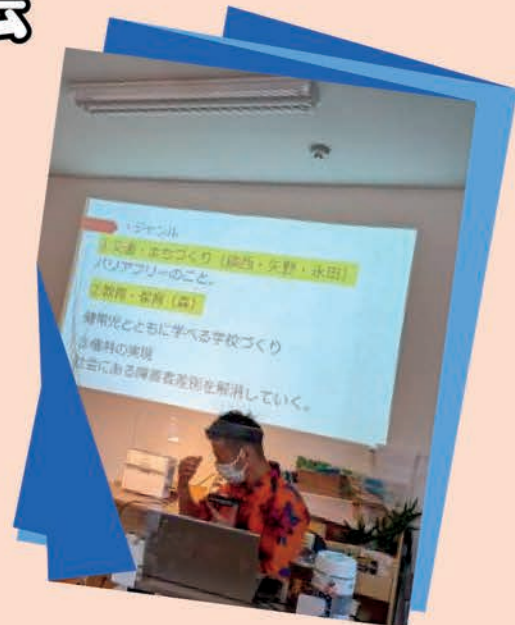
ぶん やまもと
文：山本



こうしょうじぜんがくしゅうかい オールラウンド交渉事前学習会

2022年度の大阪府オールラウンド交渉に向けての事前
学習会をしました。もう毎年恒例の活動になりましたが、
今回の事前学習会は、初めてパイオニアのメンバーだけでは
なく、岸和田市にある「ぐっすら作業所」のメンバーもオンライン
参加することになりました。

パイオニア以外の人が参加することは初めてだったので、
パイオニアメンバーも緊張した様子で自分が担当する部会の要求項目の説明をしていました。



学習会が終わり、ぐっすらメンバーからは「パイオニアってこんなことやって
るんやー。すごいっ!」という感想がありました。パイオニアメンバーにとって
は、自分たちがやっている活動が評価されたことが嬉しい!ということを感じ
る一方で、「もっといいプレゼンができるようにもっと自分も磨いていき
たい!」という意見もあり、互いに刺激ある良い機会となりました。この活動だけ
に言えることではないですが、他の団体とコラボすることで、気づくことやモ
チベーション、自分たちの自信につながるということがいっぱいあるなということ
改めて感じた機会にもなりました。2023年もいろんなところといっぱいコ
ラボしたいですね!

文: 山本



介助者募集

わたし なかま わたし あつ
 ～私たちの仲間は私たちが集める！～

みな
 皆さん、こんにちは！

わたし なん しょうがい ひと ちゅうしん ちいき か ばしょ
 私たちリアライズは何といても、「障害のある人が中心になって地域を変えていく」場所！

ちゅうしん しょうがいしゃ ひび ささ かいじょしゃ そんざい か
 ということで、中心である障害者メンバーの日々を支える介助者の存在は欠かせません！

げんざい かいじょ にな ひと ふそく あんしん じりつせいかつ つづ
 しかし現在、介助を担ってくれる人が不足しており、それぞれのメンバーが安心して自立生活を続けていくのが困難になりつつあります！

わたし なかま わたし あつ いちねんかん いろ きかい つう かいじょしゃぼしゅう
 私たちの仲間は私たちが集める！というわけで、この一年間も色んな機会を通じて介助者募集をおこなってきました!!(^^)

にちよう いずみふちゅう しゅってん
 (11/13 日曜!)カナートモール 和泉府中でのブース出展

かいじょしゃぼしゅう やす ひ ひと おお あつ
 介助者募集をやるなら、休みの日に人が多く集まる
 ところで!ということで、私たちリアライズのご近所であり、
 おお ひと あつ
 いつも多く人が集まっているショッピングモール カナート
 いずみふちゅう まるいちにち しゅってん いずみおおつ
 モール 和泉府中さんで丸一日ブースを出展して、泉大津
 かつどう かんばんせっち くぼ とお ひと
 TRYの活動の看板設置やチラシ配り、通りがかる人への
 よ だんたいしょうかい
 呼びかけ、ブースでの団体紹介などをさせていただきました！

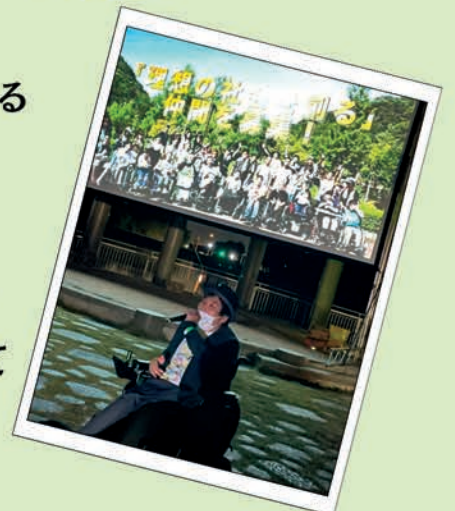
はじ こころ ゆ ひと ひと う と
 初めての試みではありましたが、行く人ゆく人がチラシを受け取って
 くれたり、ブースの方へもちょくちょく立ち寄ってくれる人がいてリア
 はなし き よ あたら であ う いちにち
 ライズの話を聞いてくれたりと、良き新しい出会いが生まれた一日
 でした☆



にちよう やがいえいがさい しゅってん
 (11/20 日曜!)野外映画祭でのブース出展

えいがかん いずみおおつし ろうにやくなんによきらく つど えいが たの
 映画館のない泉大津市に、老若男女気楽に集って映画を楽しめる
 ば
 場がほしい！

おも いずみおおつしなひ かつどうか かた きょねん
 そんなアツい想いをもちた泉大津市内の活動家の方が去年から
 はじ わたし どうがさくせい とうじつじょうえい
 始めているイベントで、私たちリアライズも動画作成や当日上映を
 とうじつ
 していただいたり、当日にマイクアピールをさせていただきましたりして
 きました(^^)





そして今年も11月に、岸和田市の蜻蛉池公園での大自然
の中「もののけ姫」の上映会が行われました! 「もののけ
姫」の世界さながらの池や森に囲まれながらスクリーンの大
画面・大音量で鑑賞でき、物語の世界に入ってしまったような
感覚になりました!!

そんな中、私たちも協賛させていただきブース出展や動画
上映、マイクアピールをさせていただきました(^^)
色んなお客さんたちとワイワイと貴重な機会をいただくこと
ができました!!

ねんかん とお ずいじじし えきまえ くぼ (年間を通して随時実施!) 駅前でのビラ・ティッシュ配り

イベントや講演もとても貴重な機会!でも、その機会だけでは十分な
数の介助者はなかなか集まらない!というわけで、イベントの機会に
加えて、日ごろからも活動終わりに、南海泉大津駅やJR和泉府中駅
など地元の駅の駅前でビラやビラ入りのポケットティッシュを配って、
介助者を募集しています!!(^^)

皆さん、寒い中や忙しい中にも関わらず、結構な数の人がビラを受け
取ってくれて、地元の温かさを感じています! ビラ配りという、古典的
ではあるけど誰もが気楽に参加できる方法で、その日いける人で無理なく
続けていける形で、定期的に行っています!

ぶん おかだ
文:岡田



いま **今!** のどから手が出るほど

かいじょしゃ **介助者** ほしい!!

しょうがい **障害**があっても当たり前前の生活がしたい!

かいじょしゃ **介助者** 必要なんです!

じきゅう **時給**1,190円~

かみがた かみいろ ふくそうじゅう **髪型・髪色・服装自由**

しゅう きんむ **週1勤務~OK!**

しゃほ こうせいねんさん **社保・厚生年金あり**

せいしゃいんとうよう **正社員登用あり**

こうつうひしきゅう **交通費支給**

がくせい **学生OK!**

しかくしゅとくしえんせいど **資格取得支援制度あり**

こうじきゅう **高時給**

みけいけんしゃだいかんげい **未経験者大歓迎**

WワークOK!

きゅうじんじょうほう
**求人情報は
Webサイトから!**



特定非営利活動法人

自立生活センター・リアライズ

Nonprofit Organization Cil Realize

おおさかふいずみおつしすけまつちよう

〒595-0071 大阪府泉大津市助松町1-3-33-104

TEL:0725-22-7716 Web:<http://www.cil-realize.com>



2022年度

リアライズ SNSランキング!!



リアライズでは2年ほど前からSNSでの発信に力を入れており、
日・祝を除くほぼ毎日、記事や動画を投稿し続けてきました。

…が、やってみるとなかなかこれが難しい。。。

そんなに毎日大きなイベントや出来事があるわけではないですから。。

それでもそこはリアライズ!やると決めたらやる!

わたしたちは運動団体ということもあり日々何かしらの運動・活動を行って
いるので、どんな小さな活動や運動などもすべて記事にしてきました。

そしたらなんとなんと、2022年度の投稿数は驚きの347件!

総閲覧数は32,400にもなりました!日々の積み重ねってすごい!

(集計は2022年4月1日~2023年3月15日)

ちなみにこれは前年度の同じ期間の閲覧数と比べて676%UPになります!

ここまでくると数字が大きくなりすぎてもうよくわかりませんが(笑)

今回はその中でも特に閲覧数の多かった上位10記事の発表!!

どんな記事がより多くの閲覧数を集めたのか!ぜひご覧ください!





※再生回数はすべてFacebookのデータになります。

ランキングはこのような結果になりました!

まさかまさかの、1位から10位まで動画が独占!やはり今の時代は動画が強いですね!
11位も動画が続き、12位くらいから徐々に通常の記事もランクインしてきている状態でした。

2023年度は今までよりさらに発信を強化していき、SNSやWebサイトで皆様にリアライズの活動や運動、日常の姿などありとあらゆる情報を発信していきますのでぜひ楽しみにしてください☆

今後もリアライズのSNSから目が離せません!ぜひ毎日チェックしてくださいね♪



- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| 令和4年度リアルライズの主な出来事・・・2～3p | リアルライズ共有会・・・34～35p |
| 代表よりご挨拶・・・4p | かずみん自立生活インタビュー・・・36～39p |
| スタッフよりご挨拶・・・5～12p | 泉大津TRY Seson2・・・40～45p |
| パイオニアメンバーよりご挨拶・・・13～14p | パイオニア活動紹介・・・46～50p |
| Viva泉州特集・・・15～25p | 介助者募集活動・・・51～53p |
| 新人スタッフ研修・・・26～30p | SNSランキング発表・・・54～55p |
| パートナー制度・・・31～33p | |

編集後記



いつもリアルライブNewsをお読みいただきありがとうございます。
 今回はいつもよりページを大幅増でお届けしております!楽しんでいただけましたでしょうか!
 ……そう、大幅増になってるんです…もちろんそれに伴い、編集時間も大幅増…作業してもし
 ても終わりが見えない!なので発送が多少遅れても仕方ありませんよね☆(言い訳)
 はい、申し訳ございません、すべてスケジュール管理の甘かった私の責任でございます(;▽;)
 これでもかなり掲載内容を絞ったのですが。。それだけリアルライズが昨年度もいろいろな活動
 や運動を行ってきた証とポジティブにとらえましょう(笑)
 今年度も色々な活動や運動を中心に、皆様へしっかりとリアルライズの情報をお届けできるよ
 う広報一同、一丸となって情報発信してまいりますので、どうか今後もリアルライズの応援をよろ
 しくお願いいたします!

編集担当:北村

編集人

特定非営利活動法人

自立生活センター・リアルライズ

〒595-0071

大阪府泉大津市助松町1-3-33-104

TEL:0725-22-7716

FAX:0725-22-7746

発行人

関西障害者定期刊行物協会

〒543-0015

大阪市天王寺区真田山町2-2

東興ビル4階

定価:100円

